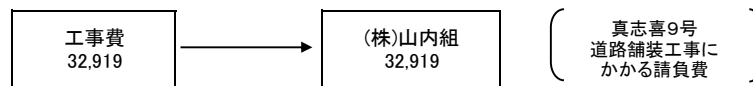


市町村名		宜野湾市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	道路景観整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	建設部 土木課	事業実施（予定）年度	H24～H33	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	プロ野球キャンプを活用した観光振興を図るため、横浜DeNAベイスターズがキャンプを行う市立野球場及び海浜公園から国道58号線までの市道を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	32,920				
		(b) 予算現額	32,920				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	32,920	0			
		B. 執行済額	32,919				
		うち交付金充当額	26,334				
		次年度繰越額	0				
		執行率 (%) (B/A)	99.997%				
	予算の状況の説明	・当初予算で事業内容はすべて実施した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	主要観光道路（市道）景観整備箇所	目標	(1路線 0.65km)	()	()	()	
		実績	1路線 0.65km				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	亜熱帯気候である本県の特殊性を考慮し、道路整備を行うことで、沖縄県のイメージを向上させ、沖縄振興に寄与した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
	主要観光道路（市道）景観整備箇所	目標	()	(1路線 0.65km)	()	()	(11路線 15.5km)
		実績		1路線 0.65km			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	亜熱帯気候である本県の特殊性を考慮し、道路整備を行うことで、沖縄県のイメージを向上させ、沖縄振興に寄与した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業を推進する上で、景観の改善が図られ、沖縄県、当市の観光、振興に寄与したものとする。	景観改善を予定している路線が10路線残っており、計画的かつ効果的な執行をしていく必要があり、優先順位などの検討が必要である。
H33年度までに11路線(15.5km)を整備する予定。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
32,919	32,919	26,334	6,585	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	工事業者は、指名審査委員会で選定承認を受けており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-② はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ			
	担当部課名	市民経済部 商工振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年	世界水準の観光リゾート地の形成 III-1-(1)			
事業内容	市民意識の高揚と市民相互の親睦を図りつつ、地域の活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を支援する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	17,053					
		(b)予算現額	17,053					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	17,053	0				
	B.執行済額		17,053					
	うち交付金充当額		13,642					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初計画していた事業の支援ができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	はごろも祭りプログラム(各イベント数)	目標	(23イベント)	()	()	()		
		実績	23イベント					
	カチャーシー大会参加人数(個人・団体)	目標	(個人80名 団体25チーム)	()	()	()		
		実績	個人56名 団体23チーム					
達成状況説明	宜野湾市のシンボルであるはごろも伝説をアピールし、2日間において23のプログラムイベントが実施できた。メインイベントである「カチャーシー大会」では、団体23チーム、個人56名の参加者があり、市民の英知と活力を結集し、まちづくりと地域の活性化に寄与することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(21年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)	
	コンベンションエリア入域客数	目標	(430万人)	(対前年度比増)	()	()	(900万人)	
		実績		対前年度比増				
	【参考指標】		目標	(13万人(22年度))	(13.5万人)	()	()	(15万人(30年度))
	はごろも祭り来場者数 ※基準値は22年度、目標値は30年度を入力		実績		14万人			
進捗状況説明	はごろも祭りカチャーシー大会開催当日は天候にも恵まれ、宜野湾市制施行50周年記念として大花火フェスティバルや青年エイサーなどのイベントを実施し目標を上回る多くの来場者で賑わった。							

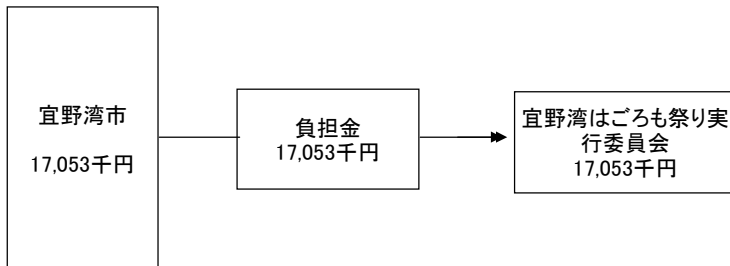
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	はごろも祭り・カチャシー大会を開催する事により、市民相互の親睦を深め、各種団体の連携・団結を高めることにより、商工・観光振興を促進し、街の活性化が期待できる。	県内外からの誘客を図ることにより、経済効果が期待できる。

今後の取り組み方針

メインイベントの「カチャシー大会」が25周年の節目の年に当たり、記念大会に相応しい企画内容で観客を魅了し、各イベントの充実を図りながらこれまでに積み上げてきた「はごろも祭り」の歴史と伝統の素晴らしさを多くの人に感じてもらえるよう支援していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
17,053	17,053	13,642	3,411	



はごろも祭り実行委員会は、宜野湾はごろも祭りの目的が十分に達成されるように市内各種団体及び関係機関との密接なる連帯のもとに、祭りの円滑なる運営を図れることを目的とする。

(事業)

- ①各種団体、機関等の連絡調整に関する事。
- ②祭りの計画調整に関係すること。
- ③祭りの業務及び事業に必要な経費に関する事。
- ④その他祭りの目的達成に必要な事項。

(事務局)

委員会の事務を処理するため、委員会に事務局を置く。

- ①委員会に関する事務、事業の指揮監督及び祭り全般に関する連絡調整を行う。
- ②祭り業務及び会計を処理する。

資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○実行委員会方式の運営をおこなっており、支出先の選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	海拔表示板設置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ			
担当部署名	総務部 市民防災室	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	安心・安全な観光地として、海岸近くのコンベンションエリアを訪れる観光客や地域住民に津波に関する情報を提供するため、消火栓標識柱、電柱に海拔表示板を設置する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,325				
		(b)予算現額	1,943				
		(c)増減額(b-a)	▲382				
		(d)前年度繰越額	—				
		A.計(b+d)	1,943	0			
	B.執行済額		1,943				
	うち交付金充当額		1,554				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	海拔表示板設置数	目標	消火栓標識柱(146力所)、電柱(100力所)の設置	()	()	()	()
		実績	消火栓標識柱(146力所)、電柱(100力所)				
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	本市の西海岸地域において、海拔表示板を既存の消火栓標識柱(146力所)及び電柱(100力所)にすべて設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	海拔表示板設置数	目標	(68力所)	(246力所)	()	()	()
		実績		246力所			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	海拔を表示したことで、津波が発生した場合に当該地域の海拔を知ることにより、安全で効果的な避難に繋げることができる。					

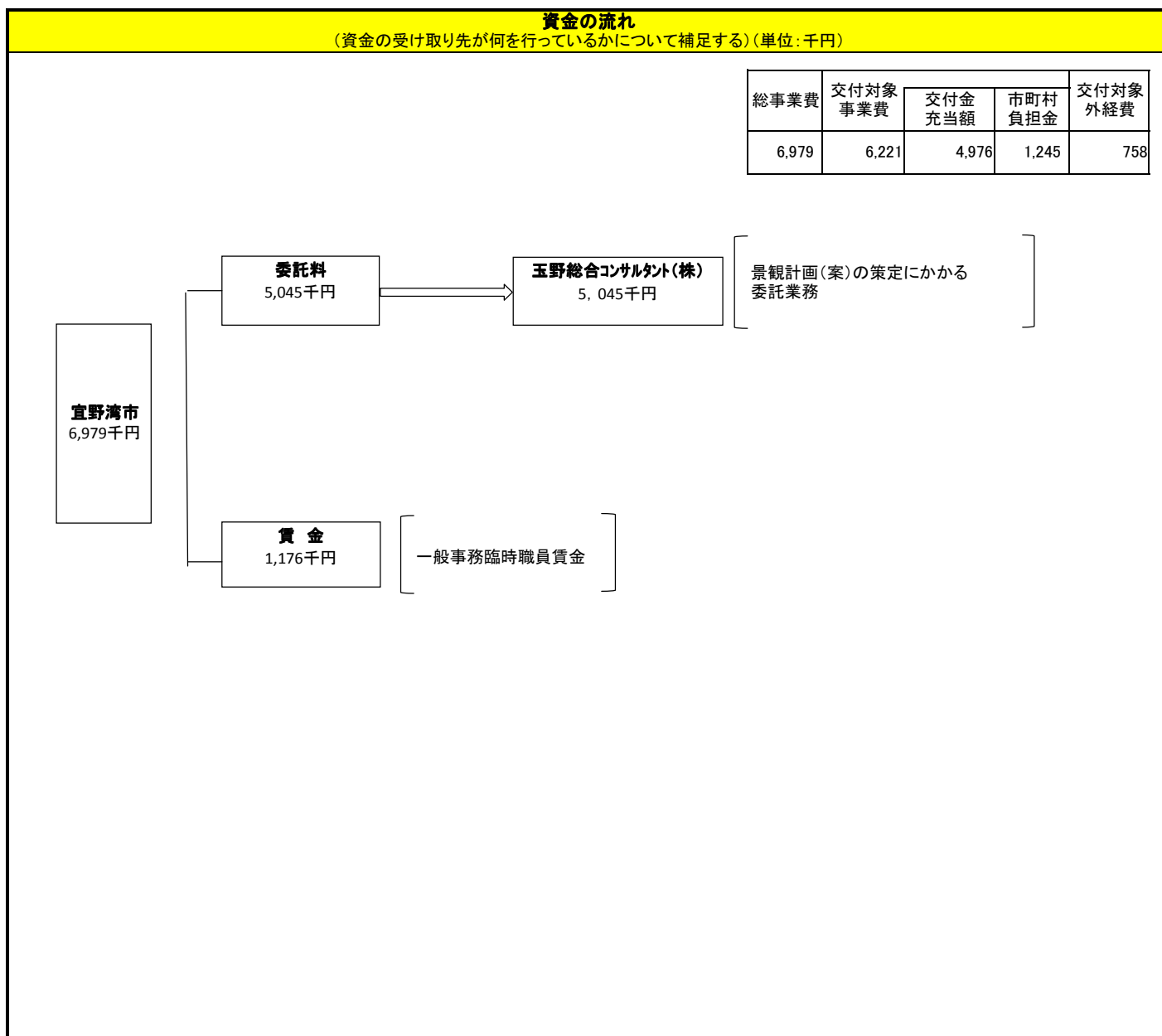
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	現状分析内容: 宜野湾市西海岸地域246カ所に海拔表示をすることにより、西海岸に暮らしている住民は自分の住んでいる所の海拔を知ることができ、また観光客や買い物にいらした方も、地震・津波による災害が起きた際に、素早い避難に結び付けることが出来る。	宜野湾市西海岸地区の広範囲にわたり、海拔を表示することが出来たので特に改善の余地はありません。
今後の取り組み方針		
宜野湾市西海岸地区の広範囲に相当数の海拔を表示することが出来たので、事業としては行わず。今後は市民の要望に応じ、民間施設、事業所等に海拔表示ステッカーの配布等を行っていきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	1,943	1,943	1,554	389	0
<pre> graph LR A[宜野湾市 1,943千円] --> B[委託料 1,943千円] B --> C[株式会社リック 1,943千円] C --- D[海拔表示設置委託業務] </pre>					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④ 風景づくり推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
	担当部署名		建設部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖繩振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)
事業内容	観光振興の観点から自然と都市が調和した環境整備を図るため、宜野湾市の特性を活かした魅力的な自然景観や伝統的景観など様々な景観資源の保全・活用や、これらと新しい建築物等が調和した景観を守り育てる仕組みの構築に取り組むため、平成24年度において景観計画策定業務を実施し、景観法に基づく『景観計画(案)』と『景観条例(案)』の策定に取り組み潤いと安らぎのある景観づくりを推進する。						
実施方法							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,736				
		(b) 予算現額	7,025				
		(c) 増減額(b-a)	▲1,711				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計(b+d)	7,025	0			
	B. 執行済額		6,221				
	うち交付金充当額		4,976				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		88.6%				
予算の状況の説明		当初予定していた事業内容はすべて実施し活動目標・成果目標の達成状況から鑑みて適正に事業実施が行われてると考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・ 景観計画(案)の作成 ・ 市民説明会の開催 ・ 景観委員会の開催	目標	(景観計画(案)策定)	()	()	()	
		実績	景観計画(案)策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	景観法に基づき景観まちづくりを進めていく基本的な計画となる『景観計画(案)』の策定に向け、本市関連部署で構成される『庁内委員会』と外部有識者で構成される『計画策定委員会』を各3回開催し計画(素案)の作成を行った。その結果を受け、23自治区を対象に6箇所に区分し市民説明会を開催し、地域住民の方々への計画素案の概要説明や様々な意見を聴取し、計画案作成にむけての取り組みを実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・ 景観計画(案)の作成 ・ 市民説明会の開催 ・ 景観委員会の開催	目標	()	(景観計画(案)策定)	()	()	()
		実績		景観計画(案)策定			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	当初予定している活動・成果目標で掲げた景観計画(案)の策定し、23自治区に対し市民説明会を開催し、目標としている成果があげられた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>●当初予定した活動目標・成果目標はスケジュールどおり順調に実施され、平成24年度において予定している景観計画(案)を作成し事業目標に関していえば達成はされているが、地域住民に対し市民説明会を開催しているが参加者等も少なく十分な啓発活動ができていないとの課題が残る。</p>	<p>今後の展開として、パブリックコメントを実施し景観事業についての啓発活動を幅広く実施していく必要があり、市民・事業者・行政が協働して取り組んでいける景観づくりの環境を整備していく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>●景観まちづくりを推進していくうえで活動・成果目標である景観計画(案)の作成が完了し、今後の展開としてパブリックコメントの結果を踏まえ必要な加筆・修正を行い最終案として景観計画をとりまとめ、平成26年度より市施行に向け、景観条例の制定・指針となガイドラインの作成を行っていく。</p>		



資金の流 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により企業組織・実績・専門的知識等を勘案したうえで選定しており、妥当な選定だと考えている。 ○予算規模については事業目的である景観計画(案)の作成において業務処理に必要な業務と従事する技術者が反映され、かつ、事務量に応じた人員が配置され、事業内容に見合った適正な予算規模だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤ 企画展開催事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ			
	担当部課名	教育部 文化課 市立博物館	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	世界水準の観光リゾート地の形成			
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)			
事業内容	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。24年度は、宜野湾市市制50周年並びに沖縄県本土復帰40周年を記念した特別展「宜野湾50th」と題した展示会をメインに開催し、戦後の宜野湾市から1962年の市昇格に至る経緯、当時の市民のくらしや文化、街の変化を紹介した。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,143					
		(b) 予算現額	3,972					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 171					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	3,972	0				
	B. 執行済額		3,630					
	うち交付金充当額		2,400					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		91.4%					
予算の状況の説明		(c) 増減額171,000円は、業務用大型プリンター賃借料で契約が不要となったため、補正減を行った額である。賃借料は一括交付金に含まれておらず、交付金に係る予算は概ね執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展の開催	目標	8回 (市単費分含む)	()	()	()		
		実績	8回 (8回中一括交付金対象分は3件)					
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	一括交付金に係る企画展として、夏の特別展「宜野湾50th」、「ぎのわんの地名」、「ぎのわんの字(あざ)展～大謝名編～」の3本を開催した。中でも「宜野湾50th」は、宜野湾市市制50年という記念する年とあって、交付金のほとんどを投入した。主に展示パネルと体験学習用の土器パズルの作成、宜野湾市の歴史を映像でみる「宜野湾50th」を制作し、見学者が宜野湾市の歴史・文化を楽しみながら学べるよう意識した。また、展示会終了後も常設展での活用と、映像DVDの市内小中学校や図書館等の施設に配布することで、学習教材用としての活用を図った。他の企画展では、来館者が展示会後の地域学習、文化財めぐりに寄与できるように、主に図録編集を行い配布した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)	
	歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展の開催	目標	8回 (市単費分含む)	8回 (市単費分含む)	()	()	()	総入館者10,000人 (企画展入館4,200人)
		実績		(8回中一括交付金対象分は3件)				
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
			実績					
	進捗状況説明	基準値としてあげた23年度の入館者よりも24年度は約1,600人減少した。それは、23年度と24年度で企画展の本数が異なり、24年度は少ないことがあげられる。24年度、当館では博物館法上の登録博物館申請を行う準備のため、企画展や講座の回数を減らしたので24年度当初から大方の予想はしていた。25年度からは23年度並の企画展数に戻したことから、23年度以上の入館を目標に取り組む。						

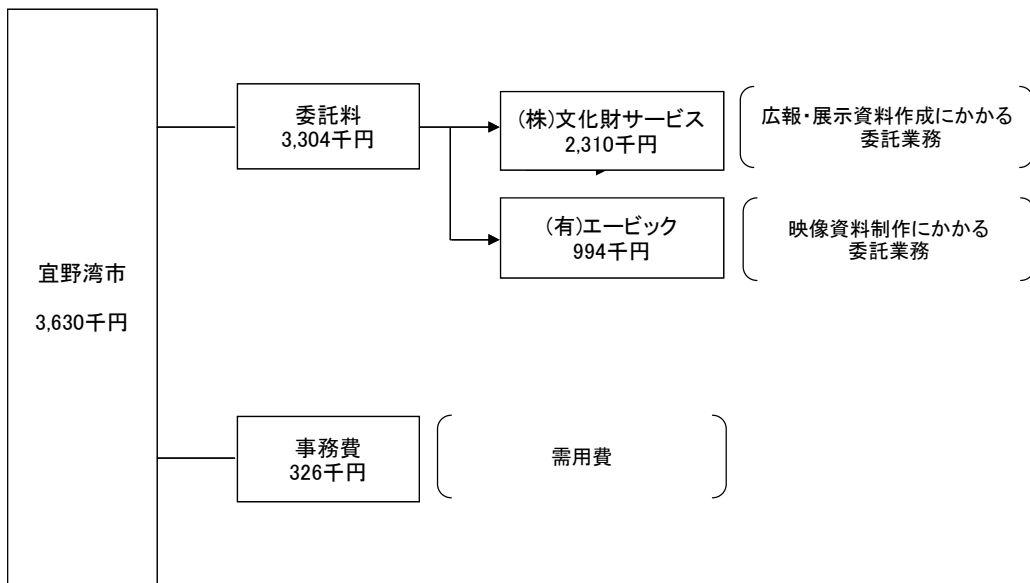
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○交付金を活用した企画展は1本目が7月末から、2本目は9月、3本目は25年2月の計3本、開催した。</p> <p>○観光に資する事業として位置づけられてはいるものの、観光での来館かどうかという目的の確認がうまくできなかった。特に夏の展示会は、夏休み時期とあって、県内出身の見学者と観光客が多い時期であるが、十分な把握ができなかった。</p>	<p>○夏季休暇時期は、年間を通して特に県内外からの集客が見込まれることから、時期を逸せず十分な準備期間(展示準備及び広報活動)を設け、準備に取組む必要がある。</p> <p>○見学者状況の把握で沖縄県内出身者と他府県からの観光客との区別ができるように工夫する。</p>

今後の取り組み方針

○観光客集客については、これまで宜野湾市内の大型ホテルを中心に企画展ポスターやチラシ等を配布を行ってきたが、その配布範囲を近隣市町村にまで拡大して周知すること、来館受付やアンケートにも来館目的に「観光」の欄を増やす等の工夫を行い、状況把握に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,630	3,630	2,400	1,230	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者は、県内でも種類・規模を同じくする同種の業務を確実に履行した実績があることを勘案の上、選定した。短期間に係わらず成果を納めた点では妥当であったと考える。</p> <p>○用途については、展示会終了後も作成資料が文化財めぐりや学習教材用としても活用が図ることができ、目的や額は適正だと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥ 宜野湾市産業まつり			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-オ			
担当部課名	農水振興課	事業実施(予定)年度	H24~H33	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 III-1-(1)			
事業内容	産業まつりを開催し、農林水産物、商工業製品等の品評会及び展示即売会を行い、生産者と市民相互の親睦と交流の場として広く内外へ紹介することにより、産業の発展に寄与することを目的とする。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	4,000					
		(b)予算現額	4,000					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	4,000	0				
	B.執行済額		4,000					
	うち交付金充当額		3,200					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	産業まつりの開催	目標	(産業まつり開催)	()	()	()		
		実績	産業まつり開催					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	プログラム全24イベント、農林水産物、商工業製品等の品評会及び展示即売会を行い、出展部門では48ブースが出展、生産者と市民相互の親睦と交流の場として広く市内外へ紹介することが出来、市内産業の発展に寄与することが出来た。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)	
	産業まつりの開催	目標	(産業まつり開催)	(産業まつり開催)	()	()	(産業まつり開催)	
		実績		産業まつり開催				
	【参考指標】産業まつり動員者数		目標	(10000)	(10000)	()	()	(30000)
			実績		8000			
	進捗状況説明	開催日両日共に雨という悪天候にみまわれ、動員者数はあまり伸びず目標には至らなかった。これまで開催していた市民広場グランドでは雨が上がっても足場がぬかるみ来場者が会場に入るのをためらう場面も見られたが、今回の開催地は宜野湾漁港内の「ゆいマルシェ」周辺で開催した為、路面がアスファルト敷きということもあり、雨が上がれば客足が伸びる兆候は見られた。						

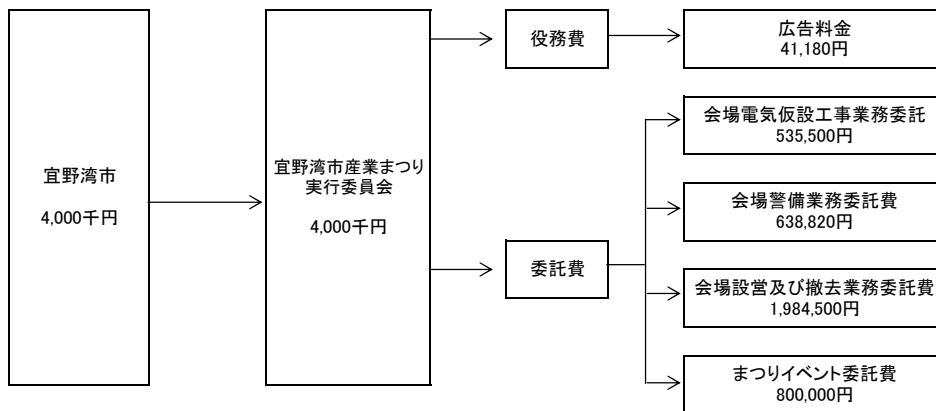
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>例年産業まつりの会場は宜野湾市民広場グランドを利用し開催してきたが、当該施設は米軍施設内となっており、不測の事態により施設の利用が制限された。</p> <p>今回は急遽会場の変更を余儀なくされ、宜野湾漁港内での開催となったが、今回のケースを踏まえ、今後の開催場所の選定は慎重に行う必要がある。</p>	<p>今回の会場変更によって、例年、宜野湾市民広場グランドにおいて開催する意義を、関係者が再認識する良いきっかけとなった。更には、宜野湾漁港内で開催した場合のメリットやデメリットも検証でき、今後の可能性を伺い知る事も出来た。</p>

今後の取り組み方針

開催場所の検討を関係機関協議の下慎重に行う。
 規模の拡大を検討し、出展部門数の増加や出品点数の増加を図る。
 市民参加型の新たな企画を盛り込み更なる親睦交流の場を生み出し、誘客数の増加・定着を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

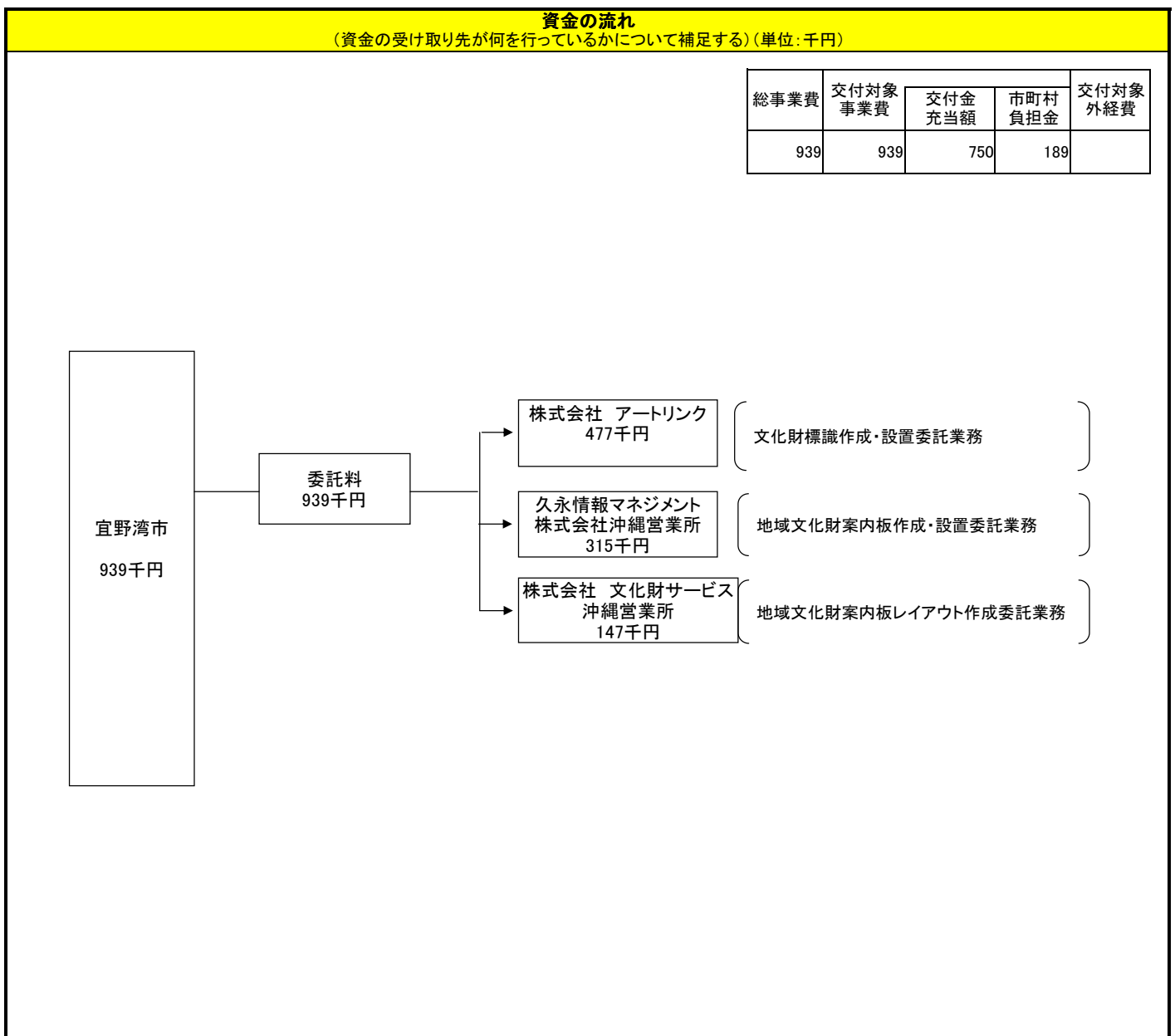
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,000	4,000	3,200	800	



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	実行委員会方式により、執行がなされており、支出先や事業規模、使途等は適正と判断している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	文化財説明板・標識設置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ			
担当部課名	教育部 文化課	事業実施（予定）年度	H24～H33	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光振興及び文化教育に資するため、市登録・指定文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板（ふるさと案内板）」を設置する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,474				
		(b) 予算現額	1,474				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,474	0			
	B. 執行済額		939				
	うち交付金充当額		750				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		63.7%				
予算の状況の説明		当初予定していた事業内容はすべて実施し活動目標・成果目標の達成状況から鑑みて適正に事業実施が行われてると考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	文化財標識・説明板設置件数：6件 地域文化財案内板設置件数：1件	目標	(7件)	()	()	()	
		実績	7件				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	指定有形民俗文化財「喜友名の石獅子群」6基に「文化財標識」を、喜友名自治会事務所に「地域文化財案内板」を設置した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	文化財標識・説明板設置件数：6件 地域文化財案内板設置件数：1件	目標	(0)	(7件)	()	()	()
		実績		7件			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	市登録・指定文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板（ふるさと案内板）」を設置する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	対象となる文化財・地域の現状を踏まえ、所有者・地域住民・来訪者から十分に意見・要望等を徴する必要がある。	地域の歴史と文化を今に伝える文化財の保護・利活用を図るために、市内に所在する文化財の調査を推進し、その成果を文化財教室、市報等で周知し、文化財の新規登録、指定に努める。
今後の取り組み方針		
文化財の所在する自治体・所有者・地域住民・来訪者の意見・要望等を十分に反映させて実施する。		



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	救助艇(ボート)等購入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	消防本部警防課		事業実施(予定)年度	平成24年度	世界水準の観光リゾート地の形成		
事業内容	市民や観光客の安心・安全を確保するため、年間32万人が利用するトロピカルビーチの最寄にある消防署に救助艇を設置し防災力の強化充実を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,242				
		(b) 予算現額	5,780				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,462				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	5,780	0			
	B. 執行済額		5,780				
	うち交付金充当額		4,600				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		執行率は100%ですが、流用額・補正減額を合わせると1,462千円の残となっている。しかし当初計画していた事業内容は実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	水難事故救助艇1艇の更新整備	目標	(水難事故救助艇1艇の更新整備)	()	()	()	
		実績	水難事故救助艇1艇の更新整備				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	救助艇(資機材等含む)の更新ができたことで、水難救助活動(要救助者検索や夜間搜索活動)と幅広い内容で消防力の強化が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	水難事故救助艇1艇の更新整備	目標	()	(水難事故救助艇1艇の更新整備)	()	()	()
		実績		水難事故救助艇1艇の更新整備			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	コンベンションエリアを中心とした西海岸地区は多くの観光客や市民が利用し、来場者数は今後も増える見込みである。西海岸地区の水難事故等防止のため、救助艇の出力の向上や水中検索装置などを含め、資機材の向上と消防力の強化が図られたことにより、今後とも市民への安心・安全が保たれる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今回は急な取組にも関わらず、細部まで検証し事業を進められた。	今後も市の現状と沖縄県の現状を踏まえ、何が必要か何を取り組むべきか色々な分野を検討し、事業の更なる効果が達成できるよう展開していく。
今後の取り組み方針		
取組の検証を鑑み、今年度事業も同様に細部まで検証し、事業の効果を最大限に発現できるよう進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	5,780	5,780	4,600	1,180	
<pre> graph LR A[備品購入費 (5,780千円)] --> B[株式会社マリンランド商会 (5,780千円)] B --- C[救助艇(ボート)等の購入] </pre>					
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。	※過去の実績等を踏まえ、業者を選定し指名競争(入札)による業者の決定、契約等は妥当と考える。 ※事業費目に関しては、事業の目的達成の観点から適性であった。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

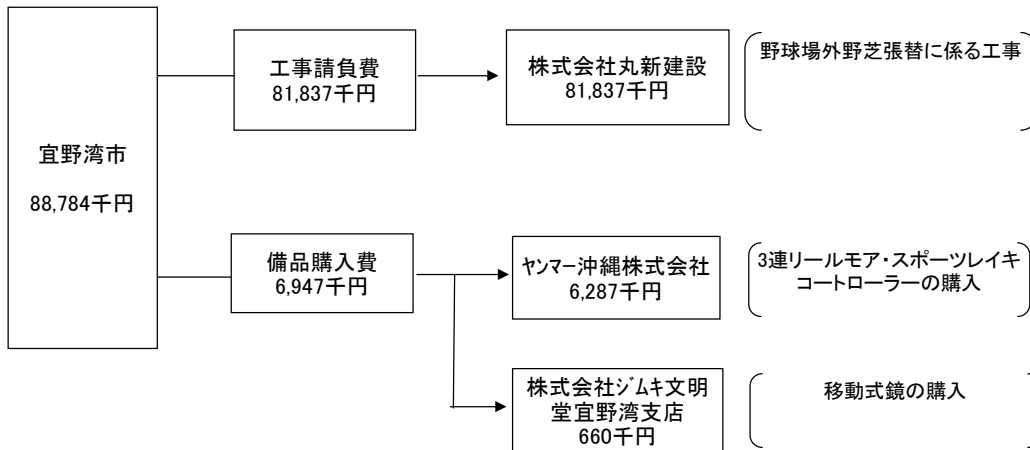
市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ			
担当部署名	建設部 施設管理課	事業実施(予定)年度	平成24～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光振興の観点から、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である市立野球場の雨天時の排水が悪く、キャンプ及びオープン戦に支障となっている外野芝舗装等改修並びにグラウンド整備機器備品の整備を行い、施設の機能向上を図り、充実した練習環境を整えることで球団のリーグ戦での成績向上、雨天による試合中止をなくし、県内外からのキャンプ見学者数を増やすことを目標に、整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	95,435				
		(b) 予算現額	95,435				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	95,435	0			
	B. 執行済額		88,785				
	うち交付金充当額		71,000				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		93.0%				
予算の状況の説明		・不用額が発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・宜野湾市海浜公園野球場の外野芝張替 ・グラウンド整備機器購入	目標	(芝張替・備品購入)	()	()	()	
		実績	芝張替・グラウンド整備機器購入				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	・野球場外野芝の張替を11月までに完了し、養生期間を確保することにより良好な芝の状態にてキャンプを開始できた。 ・野球場グラウンド整備機器購入により、内野グラウンドのローラー及び整地並びに外野芝の刈込等が短時間で整備でき、練習日程に影響を与えることなくキャンプを終えることができた。 ・野球場外野芝舗装等改修に伴いH23年度キャンプ期間中に4日の雨天に伴う球場使用ができない状態であったが、H24年度は1日のみ使用できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	プロ野球キャンプ見学者数	目標	(27,100人)	(50,000人)	()	()	()
		実績		22,300人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	活動目標である整備機器購入及び工事については達成できているが、キャンプ見学者数の増については、前年度のリーグ戦順位等の成績向上による人気によって大きく影響してくるため、前年度の最下位チームであることから見学者数の目標達成には届かなかった。また、今後もキャンプ地での施設整備の充実を図ることにより、成績向上による人気の上昇及び見学者数の増員を目標とする。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に対してプロ野球球団から排水機能の向上及び芝の生育状態の良さによる施設の機能向上と評価を得られた。 ・キャンプ期間中の練習試合・オープン戦の雨天中止が、4日から1日のみとなった。 ・成果実績22,300人となり、施設の機能向上による練習の成果がでるリーグ戦での順位までに期間が必要なことからキャンプ見学者数の目標値に影響がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ期間中のキャンプ情報・選手情報の発信による県内外からのキャンプ見学者の増を図る。 ・プロ野球球団のキャンプ施設の実績を利用した情報の発信による社会人・学生等への施設利用を促進し、キャンプ見学者数の増を図る。

今後の取り組み方針
<p>・プロ野球キャンプ時の見学環境を提供することによる県内外の観光客の誘客などを図るため、平成25年度にて市立野球場のスタンドベンチ・フェンス等を改修し、施設の機能向上を図る。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
88,785	88,785	71,000	17,785	



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○工事請負業者は指名選定方式により市内業者から、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	スクールカウンセラー活用事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ				
担当部課名	教育委員会指導部はごろも学習センター	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実			
事業内容	スクールカウンセラーを市内4小学校に定期的に派遣し、学級担任、児童生徒、保護者との相談(不登校・いじめ・非行・発達に関する問題等)を行い、教育相談の充実を図る。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,640					
		(b) 予算現額	2,640					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	2,640	0				
	B. 執行済額		1,848					
	うち交付金充当額		1,200					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		70.0%					
予算の状況の説明		交付金充当が8月以降となっているため執行率が70.0%となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・スクールカウンセラー配置 市内4小学校(2名)	目標	(2名)	()	()	()		
		実績	2名					
			目標	()	()	()		
			実績					
達成状況説明	○保護者同席のもとでケース会議を実施することで、複数の教職員でのサポート体制をはかり、保護者と学校との信頼関係作りにつめることができた。 ○学級担任から保護者へ直接促すことがためられる心療内科への受診について、スクールカウンセラーとしてその必要性を伝えることにより、受診へとスムーズにつなげることができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	・スクールカウンセラー配置 市内4小学校(2名)	目標	()	(2名)	()	()	()	
		実績		2名				
	【参考指標】 宜野湾市不登校出現率数値目標 小学校 0.3以内 中学校 2.5以内		目標	()	(小学校0.3以内 中学校 2.5以内)	()	()	()
			実績		小学校 0.24 中学校 2.55			
	進捗状況説明	不登校出現率は、各月によって、多少増減はあるが、年間を通して数値目標を達成することができた。						

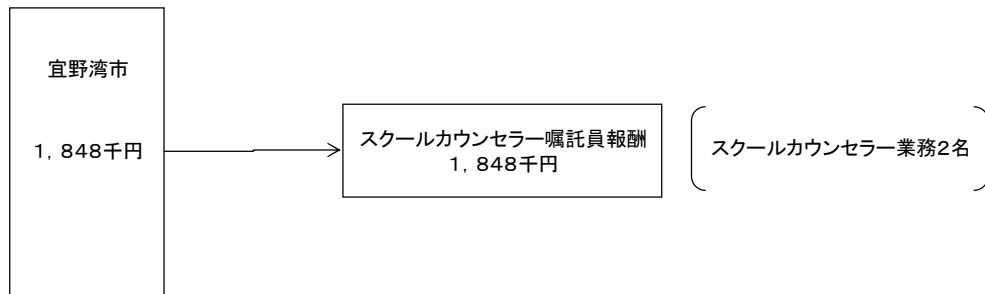
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本市の教育施策「根づくり教育」の実現にむけて、幼小中の連携を図りながら、自己有用感や自己肯定感の涵養を図る。	生徒指導、教育相談等に係る問題行動の解決について
	H24年度の課題 ①いじめが、小中合わせて昨年比で8名増加。 ②中学校における「10～29日欠席」が18名存在する。 ③喫煙、家出が昨年より増加傾向にある。 不登校出現率は達成できたものの、その他の問題行動が増加傾向にある。	①各学校において、スクールカウンセラーと各学校の管理職、生徒指導担当、教育相談担当が中心となり、組織的に問題解決に向けた体制づくりに努める。 ②問題行動については、早期発見、早期対応が要となるので、学級診断アセスメント調査等の情報を教員だけでなくスクールカウンセラーも情報を共有して早期対応に努める。 ③生徒指導上の問題行動の出現率は今後も増加することが考えられる。早期発見、対応を重視するためにも、スクールカウンセラーの派遣時間回数、時間を増加する必要がある。

今後の取り組み方針

スクールカウンセラーの業務は、現在、そのほとんどが「学校における児童・生徒や保護者の相談、担任への対応助言」に集中しているが、予防的な取り組みとして、校内研修で教員のカウンセリング技能の向上や保護者への講演などを行う必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

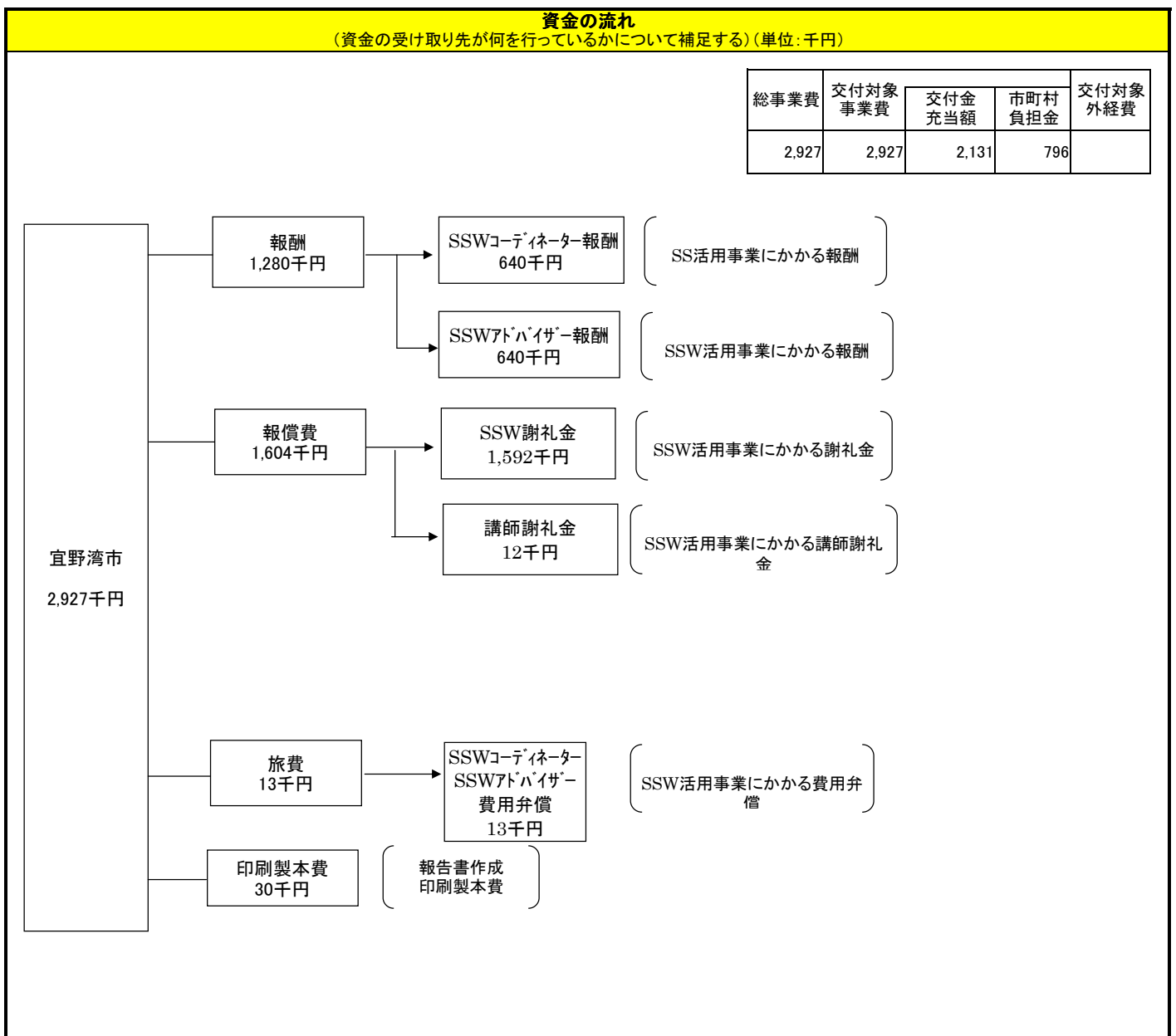
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,848	1,848	1,200	648	



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 費目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-② スクールソーシャルワーカー活用事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所				
担当部課名	指導部 青少年サポートセンター	事業実施(予定)年度 平成24～33年度				
		沖縄振興基本方針該当箇所				
事業内容	不登校児童生徒の復学を支援するため、スクールソーシャルワーカーを配置する。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	(a) 当初予算額	4,659				
	(b) 予算現額	4,659				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	4,659	0			
	B. 執行済額	2,927				
	うち交付金充当額	2,131				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	62.8%				
予算の状況の説明	交付金充当が8月以降となっているため執行率が62.8%となっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	スクールソーシャルワーカー(第一教育相談室)2人:SSWコーディネーター(1人)・SSWアドバイザー(1人) 計2人 市内4中学校へ1人 計4人配置 合計6人	目標 (6人)	()	()	()	
		実績 6人				
		目標 ()	()	()	()	
		実績				
達成状況説明	不登校児童生徒の登校支援や相談業務、学習支援等の支援を行う。地道な支援により9人、学校復帰。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	スクールソーシャルワーカー(第一教育相談室)へSSWコーディネーター(1人)・SSWアドバイザー(1人) 計2人 市内4中学校へ1人 計4人配置 合計6人	目標 ()	(6人)	()	()	()
		実績	6人			
	【参考指標】 学校・学級復帰の生徒数	目標 ()	(44人)	()	()	()
		実績	9人			
	進捗状況説明	不登校児童生徒の登校支援や相談業務、学習支援等の支援を行う。地道な支援により9人、学校復帰。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	個々のケースについて、関係部署で十分な協議を重ね担当部署の選定、繋ぎ方や支援策について協議が求められる。	スクールソーシャルワーカーを中心とした実務者会議等で学校、関係機関(福祉推進部・保護課、児童家庭課、障がい福祉課)との意見交換しながら連携を図ることにより指導、支援の充実に努める。
今後の取り組み方針		
市内の小中学校へ配置している学校配置相談員(自立支援指導員・教育相談指導員)及び学校との情報連携を図り、相談員の更なるスキルアップを図り、アドバイス、コーディネートが充実する支援活動に努める。		



資金の流 れ、費目 の点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

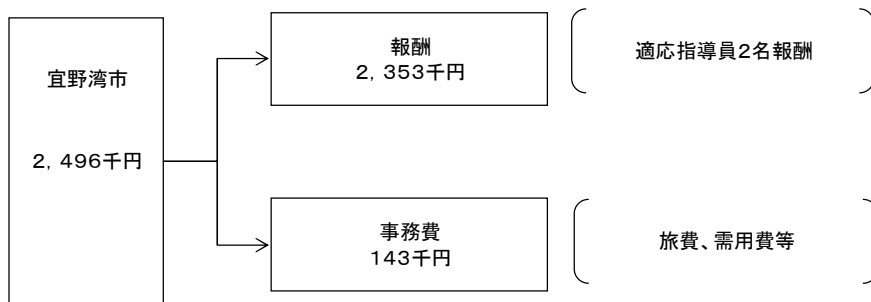
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	原籍校復帰への取り組みとして ①児童生徒が直接原籍校を訪れ、担任の先生から、学級の様子や学習状況の説明を受ける機会をつくり、原籍校への興味を持つように努める ②学校行事(体育祭、中体連等)を通して、学校復帰への足がかりをつくるようにする。 ③若葉担当者と青少年サポートセンター職員、学校の三者が情報を共有して、連携体制の充実を図る。	左記の課題の対応策として ①原籍校と若葉教室の役割、分担を明確にして、連携した支援の在り方を明確にしていく。 ②原籍校との連絡を密にとり、学校復帰への足がかりとなる、学校行事や学級行事に、若葉教室の児童生徒の参加を促す。

今後の取り組み方針

若葉教室は、原籍校への復帰を目指す。そのために地域の方とのふれあいや、諸活動を通して集団への適応能力の育成に取り組んでいる。原籍校への復帰は長期的な取り組みが必要となり、短い期間での復帰は望めない。しかし、集団への適応能力の育成については、若葉教室の行事等で育てることができる。そこで、若葉教室の行事へ参加させることで、適応能力の育成に取り組んでいく。具体的には、①児童生徒へ各行事の情報をあたえ、各自の目標参加回数を設定する。若葉担当者、支援員は目標達成への支援を行う。
②原籍校へのチャレンジ登校の目標値設定

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

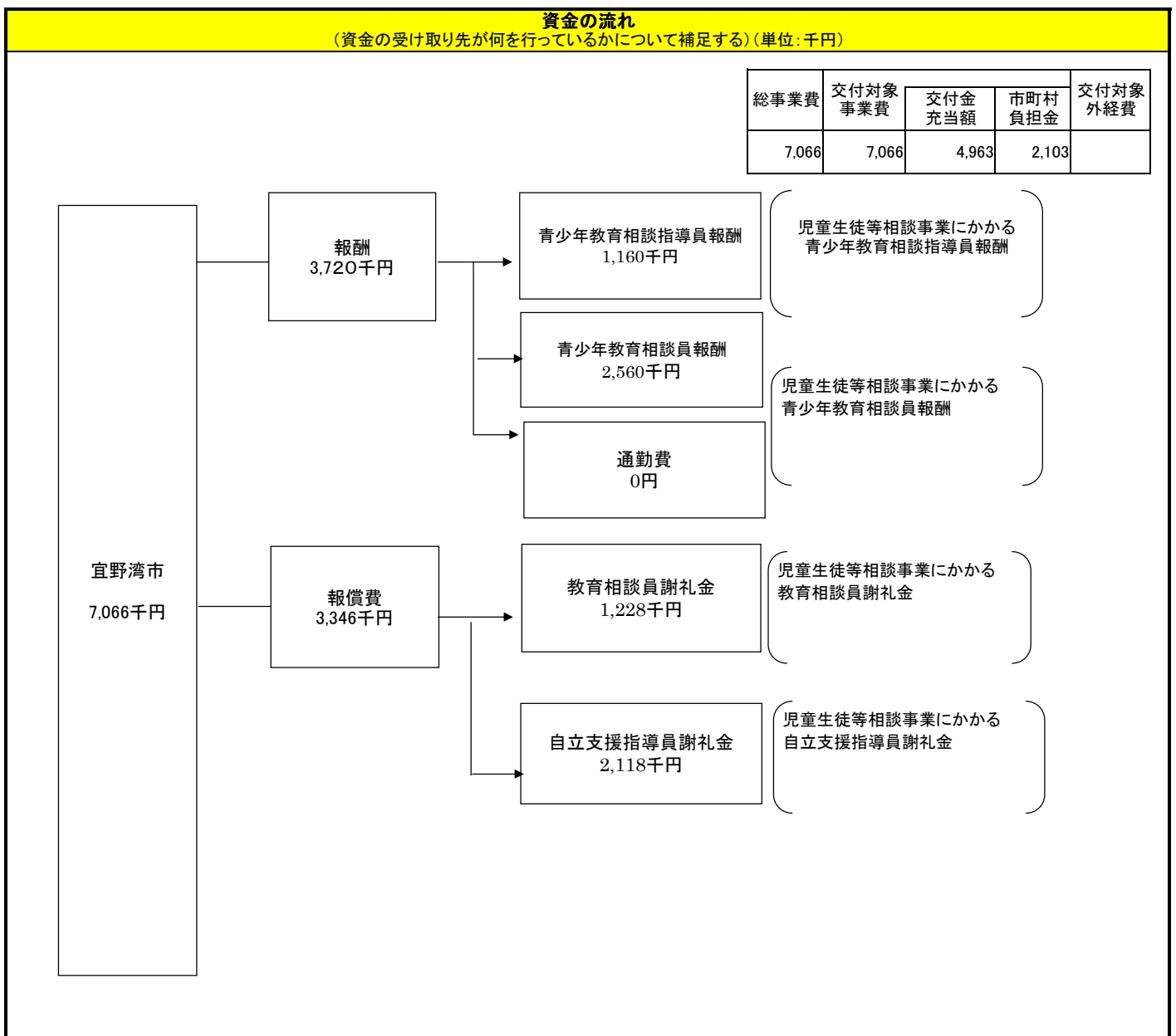
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,496	2,496	1,900	596	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	適応指導員の募集にあたっては、インターネットに採用情報を掲載するなどにより広く周知を図った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④ 児童生徒相談事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ		
担当部課名	指導部 青少年サポートセンター	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実		
事業内容	教育問題の解決に向けて相談業務の充実を図るため、教育指導相談員、自立支援指導員を配置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	10,893				
		(b)予算現額	10,893				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)前年度繰越額	—				
		A.計(b+d)	10,893	0			
	B.執行済額		7,066				
	うち交付金充当額		4,963				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		64.9%				
予算の状況の説明		交付金充当が8月以降となっているため執行率が64.9%となっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	青少年教育相談員(第一相談室1名) (第二相談室3名・教育相談指導員1名) 教育相談員配置(小学校へ3名) 自立支援指導員(中学校へ3名)	目標	(13名)	()	()	()	
		実績	13名				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	問題行動等による不登校児童生徒93人に対し、相談支援・登校支援等。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	青少年教育相談員(第一相談室1名) (第二相談室3名・教育相談指導員1名) 教育相談員配置(小学校へ3名) 自立支援指導員(中学校へ3名)	目標	()	(13名)	()	()	()
		実績	/	13名			/
	【参考指標】 小中学校の不登校生徒数		目標	()	(100人)	()	()
			実績	/	93人		/
	進捗状況説明	問題行動等による不登校児童生徒93人にたいし、相談支援・登校支援等・学習支援等を行い、関係機関との連携を図り支援を繋ぐ。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	青少年サポートセンターから各小中学校へ派遣している、自立支援指導員の業務として、遊び非行型の不登校や問題行動児童生徒の居場所づくりや、いじめ、暴力行為の未然防止や早期発見、対応に努めることとなっているが、学校での活用計画については校長の指揮監督の下に業務の配分がされるため、学習支援に重点を置く学校があった。配置員から本来の業務がさせてもらえないとの報告がある。	学校配置指導員(自立支援指導員含む)からの状況の報告を検証し、本来の業務と学習支援の割合を検討するとともに、教育委員会指導部との協議を行い学校長と活用計画について協議し改善を求める。
	今後の取り組み方針	
比較的に落ち着いている学校についても、学校内外の巡視活動、教室に入れない生徒への支援や未然防止活動を推進する。		



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑤ 非行防止等巡回活動事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ
担当部課名	指導部 青少年サポートセンター	事業実施(予定)年度	平成24～27年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容	児童生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して少年少女の問題行動に対して必要な指導・助言を行い事件事故の未然防止に努めるため夜間街頭巡回指導員を配置する。
------	-------------------------------------------------------------------------------------

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	1,990				
	(b)予算現額	1,990				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)前年度繰越額	—				
	A.計(b+d)	1,990	0			
	B.執行済額	1,362				
	うち交付金充当額	1,010				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	68.4%				
	予算の状況の説明	交付金充当が8月以降となっているため執行率が68.4%となっている。				

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		夜間街頭指導員数	目標 (16人)	()	()	()
	実績	16人				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	市内の公園を中心に、コンビニ・ゲームセンター・空店舗等を4人グループで班をつくり、4班体制で金曜日、土曜日を定例とし平日に一日、週3日、21時～24時の時間帯を巡回指導を行い、青少年が事件事故に関わることが無いよう未然防止と抑止効果に繋げる。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		夜間街頭指導員数	目標 ()	(16人)	()	()
		実績	/	16人		/
	【参考指標】 児童生徒の夜間街頭指導件数	目標 ()	(600件)	()	()	()
	実績	/	506件		/	
進捗状況説明	近年の夜間街頭指導の指導実績の推移をみると、平成22年度(883件)・23年度(773件)・24年度(506件)と効果をあげている。					

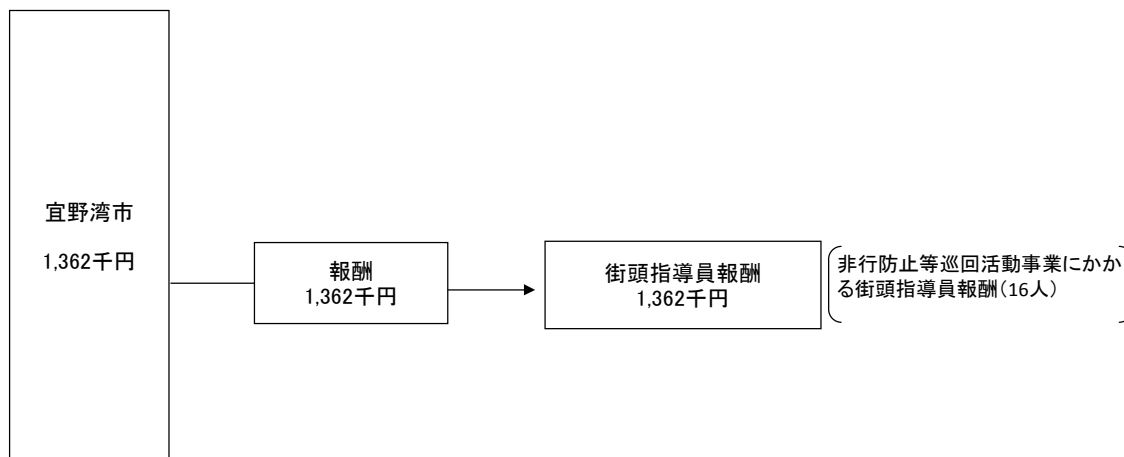
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	児童生徒が下校する時間帯、15時～18時の間、街頭指導が無く、交通安全や変質者等から児童生徒の安全を確保する見地から必要性のシーズが高い。	地域の自治会や民間のボランティアにゆだねる事も一案であるが、事業として行う事が望まれる。

今後の取り組み方針

事業として計画するとなると報酬等の財源の確保が課題となると思われるため、予算要求の提案を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,362	1,362	1,010	352	



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑥ 小学校学習支援員活用事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア
担当部署名	指導部 指導課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 Ⅲ-3-(1)

事業内容	学習の遅れがちな児童に対して、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置し、自ら学ぶ意欲を高め、基礎的・基本的知識及び技能の習得を図る。
------	-------------------------------------------------------------------------

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	14,596				
	(b)予算現額	14,596				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)前年度繰越額	—				
	A.計(b+d)	14,596	0			
	B.執行済額	9,594				
	うち交付金充当額	7,600				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	65.7%				
	予算の状況の説明	交付決定時期の関係で、交付金充当額は減となったが、適切な人員配置・割り振りであった。				

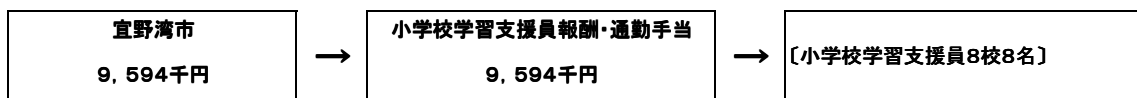
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
学習支援員の配置;8校	目標	(8校8名)	()	()	()
	実績	8校8名			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	当初予定通りの人員の配置ができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		目標	()	(対前年比改善)	()	()
	実績		対前年比改善			
	目標					
進捗状況説明	児童の、基礎的・基本的知識技能の習得を図るために、各小学校に学習支援員を配置した。学習支援員は、学級担任及び指導方法工夫等改善担当教諭と連携して、授業中及び放課後等を利用して、学習の遅れがちな児童に学習支援を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援員の服務について ・学習支援員の資質向上について 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援に対する服務研修会の充実 ・学習支援員の資質の向上を図り、効果的な学習支援を行うための研修会の充実
今後の取り組み方針		
<p>学習支援員の研修会等を通じて、学習支援員の資質向上に努める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,594	9,594	7,600	1,994	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦	派遣費補助金交付事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ			
担当部課名	指導部 学務課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実		
事業内容	○ 児童・生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	15,809				
		(b)予算現額	18,251				
		(c)増減額(b-a)	2,442				
		(d)前年度繰越額	—				
		A.計(b+d)	18,251	0			
	B.執行済額		3,585				
	うち交付金充当額		2,867				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		19.6%				
予算の状況の説明		内定時期(9月4日)以前の執行が多く、また、県外派遣費補助事業内容の性質上、見込が把握出来ない為である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	派遣費用補助団体数	目標	(4団体)	()	()	()	
		実績	6団体				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	中体連主催等の県大会において、宜野湾市立の学校に在籍、または市内に住所を有する児童・生徒が、優秀な成績を得た事により目標団体数以上の実績が得られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
	派遣費用補助団体数	目標	(4団体)	(4団体)	()	()	(30団体以上)
		実績		6団体			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	児童・生徒の学校教育活躍の向上を、今後期待していきたい。					

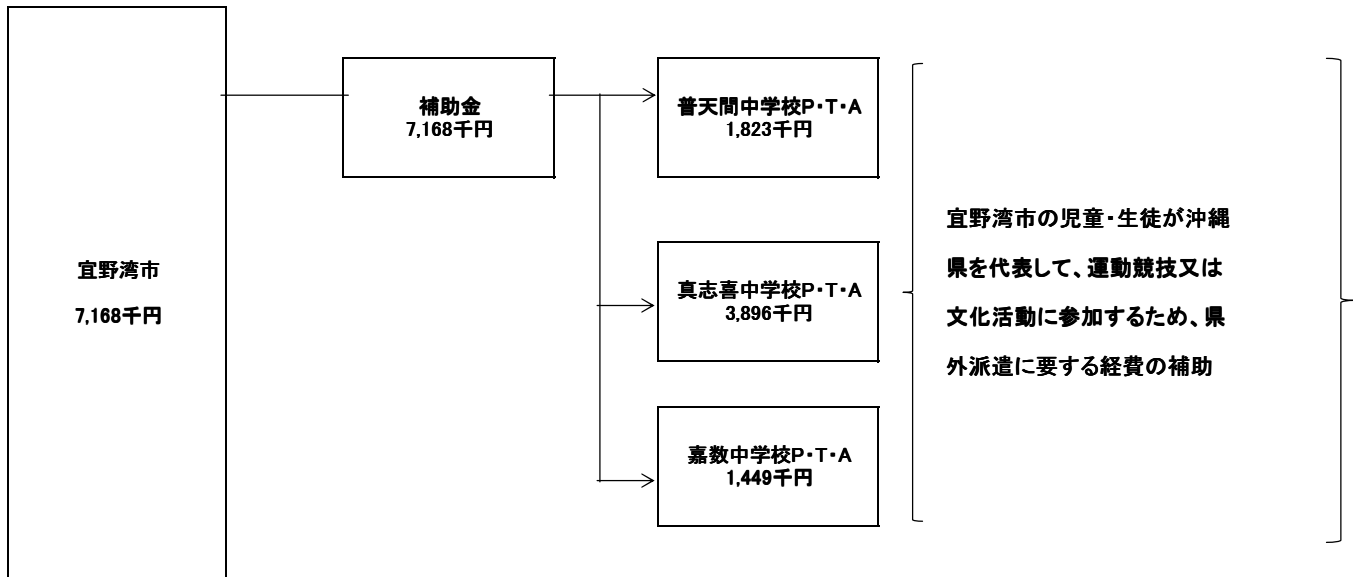
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>県外派遣費補助事業は、県代表として学校教育活動の一環として運動競技又は文化活動に参加するため、県外派遣に要する経費に対して補助金を交付するものである。</p> <p>①運動競技では、中体連主催のものが対象。</p> <p>②文化活動では、ロボコン、マーチング(吹奏楽含む)が主である。</p> <p>上記以外の活動についての補助金交付は認めていないのが実情である。今後、上記以外の主催する団体についても補助金を交付してもらいたいとする要望があると思われる。</p>	<p>平成24年度に、「沖縄県中学校文化連盟」より、中文連主催の文化活動も、補助対象として認めて貰いたいとの要望があった。</p> <p>他市の現状を鑑み、最善策を検討していく。</p>

今後の取り組み方針

平成25年度からは、中文連主催の文化活動であれば、(申請内容によっては交付対象外となる可能性もある)学校教育活動の一環として捉え認めることになった。。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

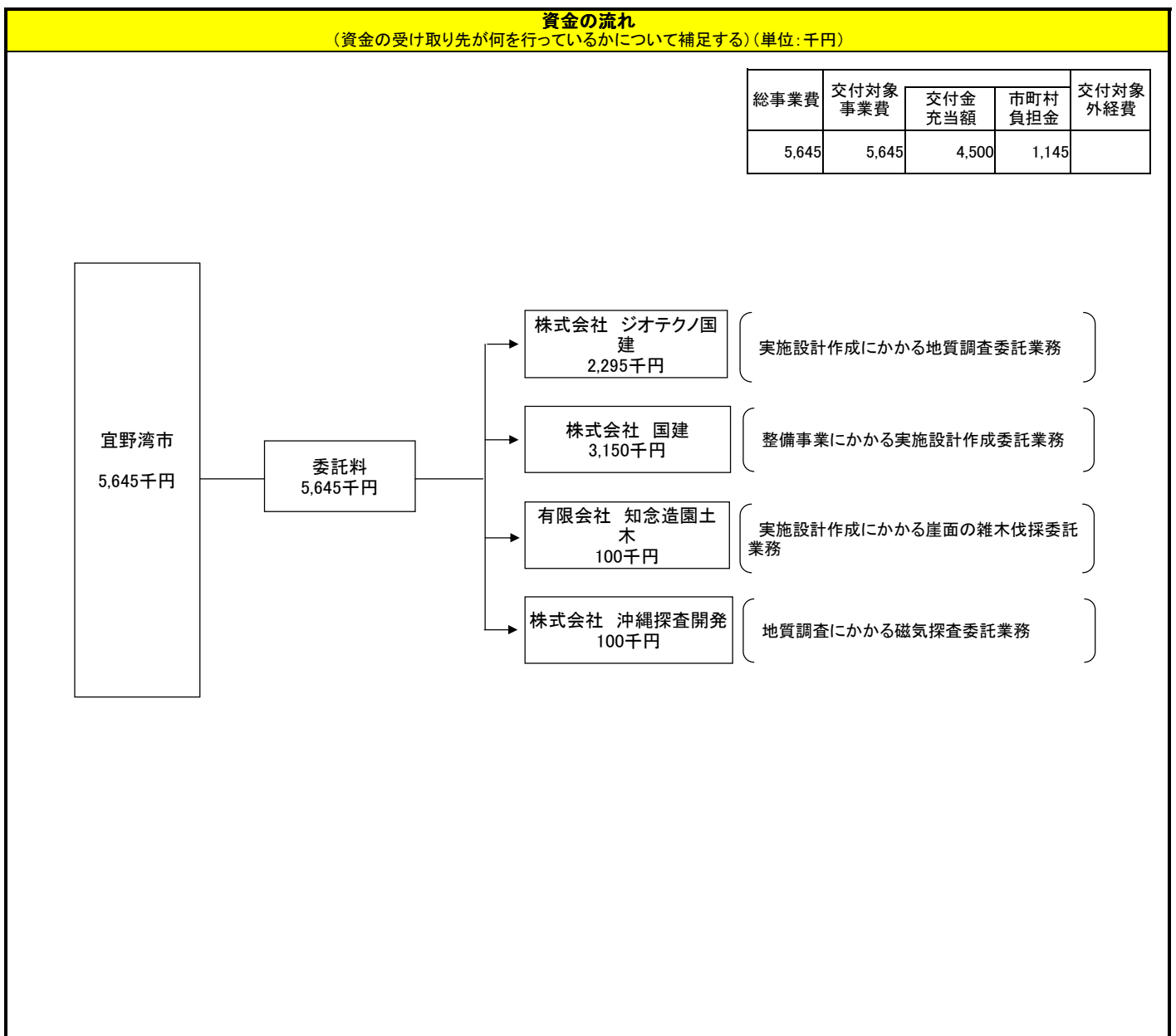
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,168	3,584	2,867	717	3,584



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	各種目競技において県代表として決定した児童・生徒が在籍する学校(P・T・A連合会)から実績等を提出させ、内容を精査したうえで、補助金交付決定を行なっているため、妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	文化財保存整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア			
担当部署名	教育部 文化課	事業実施（予定）年度	H24～H33	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	宜野湾市では、市が指定する文化財の保存及び活用が課題である。平成24年度は、市指定有形民俗文化財「我如古ヒージャーガー」の安全対策工事に係る地質調査及び安全対策工事実施設計委託業務を実施した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,646				
		(b) 予算現額	5,646				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	5,646	0			
	B. 執行済額		5,645				
	うち交付金充当額		4,500				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	指定文化財の保存整備件数	目標	(1件)	()	()	()	
		実績	1件				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	市指定有形民俗文化財「我如古ヒージャーガー」が立地する崖崩落の安全対策工事に係る地質調査及び安全対策工事実施設計委託業務を実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (33年度)	
	指定文化財の保存整備件数	目標	(0)	(1件)	()	()	()
		実績		1件			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	実施設計に基づき、25年度我如古ヒージャーガー安全対策工事を実施する。					

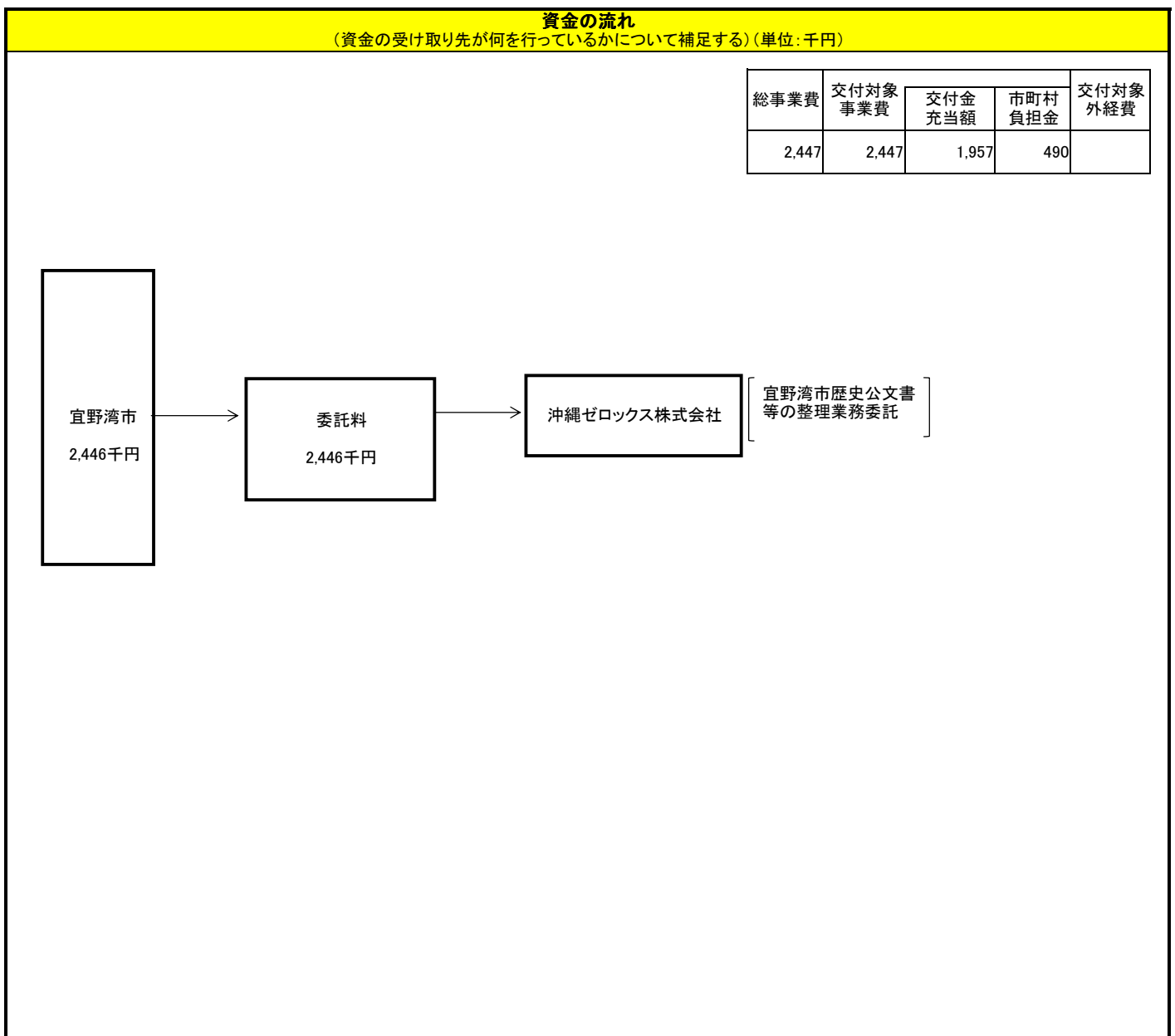
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	湧泉等の文化財は地域の拝所等として信仰の対象であり、多く方が現地を訪れるが、敷地内の道・階段等は、急傾斜の上、長い年月使用され続けたことにより石灰岩の表面が摩耗し、降雨後等は特に来訪者が滑落する危険性を有している。 その為、文化財的価値・景観等を維持しながら、誰でも安全に現地を訪れるよう配慮する必要がある。	対象となる文化財の現状を踏まえ、保存整備後の利活用に向けて事業立案時より所有者・地域住民・来訪者・学識経験者から十分に意見・要望等を徴した後に整備計画に着手する必要がある。
今後の取り組み方針		
所有者・地域住民・来訪者及び学識経験者の意見・要望等を十分に反映させて整備方針等を作成する。		



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-② 歴史公文書等整理・活用事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-1-(4)-ア 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造					
担当部課名	教育部 文化課	事業実施（予定）年度 H24～H33 沖縄振興基本方針該当箇所 III-3-(2)					
事業内容	文化課には、戦後初期から本土復帰、現在に至るまでの歴史的・文化的価値を有する宜野湾市（村）の公文書等がある。いわば、宜野湾市の戦後史を示す資料群である。これまで収集した公文書等は、約1,250箱 約23,000冊があり、文書をはじめ図書類、写真、刊行物などが含まれる多種多様なものである。現在それらは地下倉庫にあり、損傷が激しいため早急に適切な保存環境を整える必要がある。公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的とする。業務は、公文書等の整理を直営または委託し、保存、公開の基準づくりや利用に供するための検索システム構築等を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		2,927				
			2,447				
			▲ 480				
			—				
			2,447	0			
	B. 執行済額		2,447				
	うち交付金充当額		1,957				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		予定どおり、執行されている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	歴史的価値を有する公文書等の整理：100冊	目標	(100冊)	()	()	()	
		実績	101冊				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	歴史的価値のある公文書を利用しやすくするため、データベース化して照会や新規追加ができるようなシステムを導入する。また、照会・入力作業が終了した文書は、劣化防止策を施し、保管する。ほぼ目標通りの実績となった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	歴史的価値を有する公文書等の保存整理冊数	目標	(100冊)	(100冊)	()	()	()
		実績		101冊			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	宜野湾市文化課にある歴史的価値、学術的価値の高い公文書をデータ化することにより、照会、新規入力等が容易になるよう、システム化を行った。今後も継続していくことで、公文書の整理・保存が容易になり、街づくりの資料や字誌などに市民が活用できる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	① データベース化の際、公文書の内容や学術的価値の把握により、資料内容の記載が変わる可能性がある。入力の際にはある程度の評価ができる人材に入力を行ってもらえば、スムーズに作成できる。 ② 公文書の劣化が激しいものもあるので、できるだけ早く事業を行いたい。原本は、閲覧に際しては制限をかけ、整理に関しても可能な限り、直接手に触れる回数を極力少なくすることで、保存することができる。	② データ入力をおこなう臨時ないしは嘱託職員については、できるだけ公文書や歴史についての基礎知識を持った人材を登用したい。
今後の取り組み方針		
公文書等のデータベース化を行うことにより、資料の所在や内容がより明確になるよう、入力内容等の検討を行いたい。同時にすべての公文書をデータ化し、原本を保存しつつ資料として利用を促進させる。定期的な公文書等の保管・活用に寄与していく。		



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指定業者による入札において行われており、妥当であると思われる。 ○委託業者においては、業務日誌により作業内容が細かく記載されており、進捗状況が把握できるようになっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① 預かり保育事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ		
担当部課名	指導部 指導課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子育てセーフティネットの充実		
事業内容	平成16年度から毎年公立幼稚園において、保護者の就労等により午後の保育に欠け、かつ希望する園児を対象に、通常の保育時間の終了後や長期休業期間中に保育を実施することで、保護者の支援をする。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	13,698					
	(b) 予算現額	13,535					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 163					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	13,535					
	B. 執行済額	3,193					
	うち交付金充当額	2,000					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	23.6%					
予算の状況の説明	交付決定時期の関係で、交付金充当額は減となったが、適切な人員配置・割り振りであった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	預かり保育実施幼稚園数:8園	目標	(8園)	()	()	()	
		実績	8園				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	市内全体で2052人利用。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)	
	預かり保育利用者数1,500人 一時預かり保育利用者数400人	目標	(8園 1900人)	(8園 1900人)	()	()	(年間2,000人以上)
		実績		2093人			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成16年から2園ずつ導入し、平成19年度には市内8園全園において、各園1クラス設置し預かり保育を行っている。					

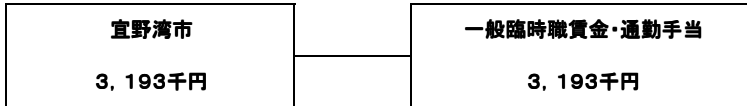
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>(1)幼稚園は元々、午後までの保育に対応した建築設計では無かったため、設置基準に定められたような、預かり保育専用の部屋の確保が出来ていない幼稚園がある。(普天間幼稚園、大山幼稚園、長田幼稚園)そのような幼稚園では、調理器具や寝具等の収納場所に苦慮している。</p> <p>(2)各園1クラスずつ、定員を20人で行っているが、毎年希望者が定員を上回る園が2~3園ある。従って、学級増が必要である。</p> <p>(3)保護者の勤務証明書の様式が簡単すぎるため、午後の保育に欠ける状況把握が難しい場合がある。</p> <p>(4)毎年、保護者から給食導入の要望がある。</p>	<p>(1)専用室の増設や収納場所の確保について、各幼稚園及び関係課と連携を図りながら、改善に向けて工夫していく。</p> <p>(2)預かり保育担当教諭を増員し、学級増をする。</p> <p>(3)勤務証明書の見直しを行い、新様式を作成する。</p> <p>(4)給食またはケータリング導入に向けて計画を進める。</p>

今後の取り組み方針

給食又はケータリングを導入し、預かり保育希望者を増やし、全幼稚園において、預かり保育の学級増をしていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,193	3,193	2,000	1,193	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	中国廈門理工学院留学生派遣事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	企画部 市民協働推進課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	中国に対する理解を深め、国際的視野を持った人材育成を図るため、友好合作都市である中国福建省廈門市の市立大学に1年間研修留学生を派遣する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,364				
		(b) 予算現額	802				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 562				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	802	0			
	B. 執行済額		796				
	うち交付金充当額		636				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		99.3%				
予算の状況の説明		予算が562千円減額されているが、中国廈門に渡る際の飛行ルートにより金額が安くなったため減額となったものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	留学生派遣人数	目標	(1人)	()	()	()	
		実績	1人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	選抜試験(作文、面接)を実施し、留学生希望者4人の中から選抜した1人を、中国廈門市へ派遣している。(H24.8～H25.8)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
	留学生派遣人数	目標	(0人)	(1人)	()	()	(10人)
		実績		1人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	選抜試験(作文、面接)を実施し、留学生希望者4人の中から選抜した1人を、中国廈門市へ派遣している。(H24.8～H25.8)					

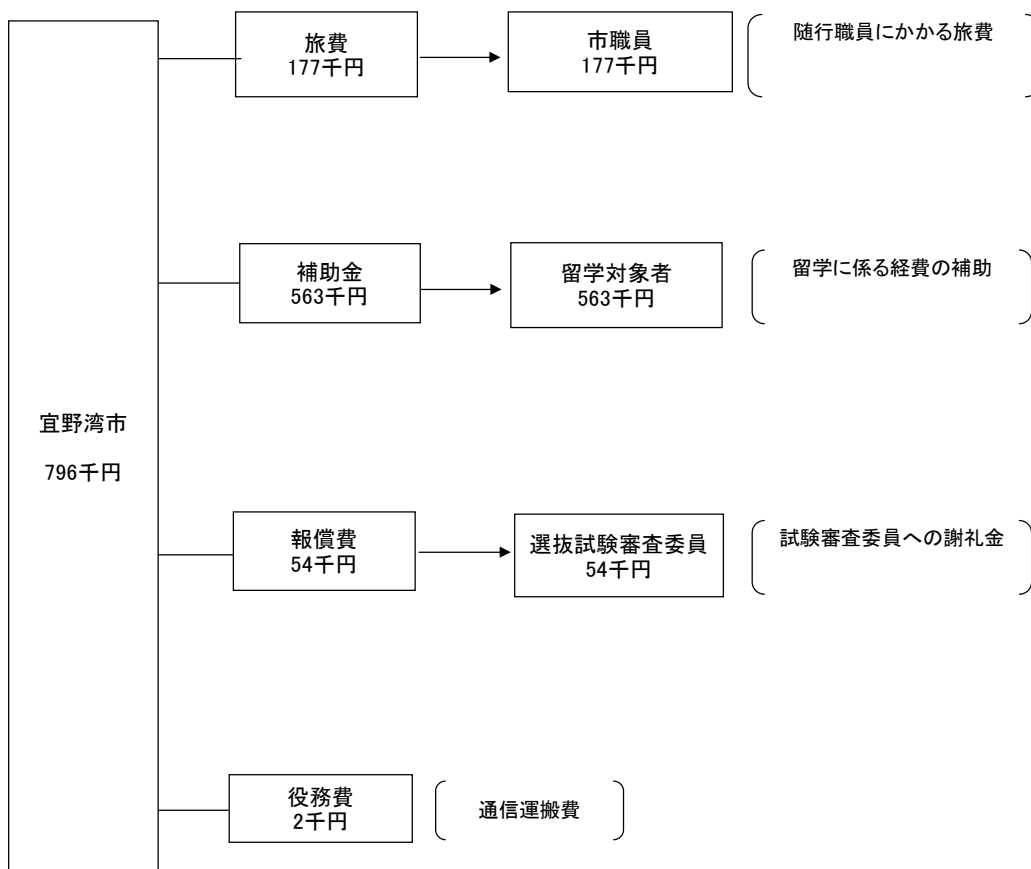
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>尖閣領土問題等による日本と中国の2国間緊張関係の発生により、留学生の安全確保や今後の留学希望者数の減少対策が留意点となっている。</p>	<p>安全確保対策をこれまで以上に留意する必要がある。短期的には留学希望者数は減少する可能性があるが、潜在的ニーズは多いと考えます。</p>

今後の取り組み方針

留学生や受入先大学と連携を取り、現地の状況を定期的に確認する。
留学希望者が減少しないよう、広報を強化する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

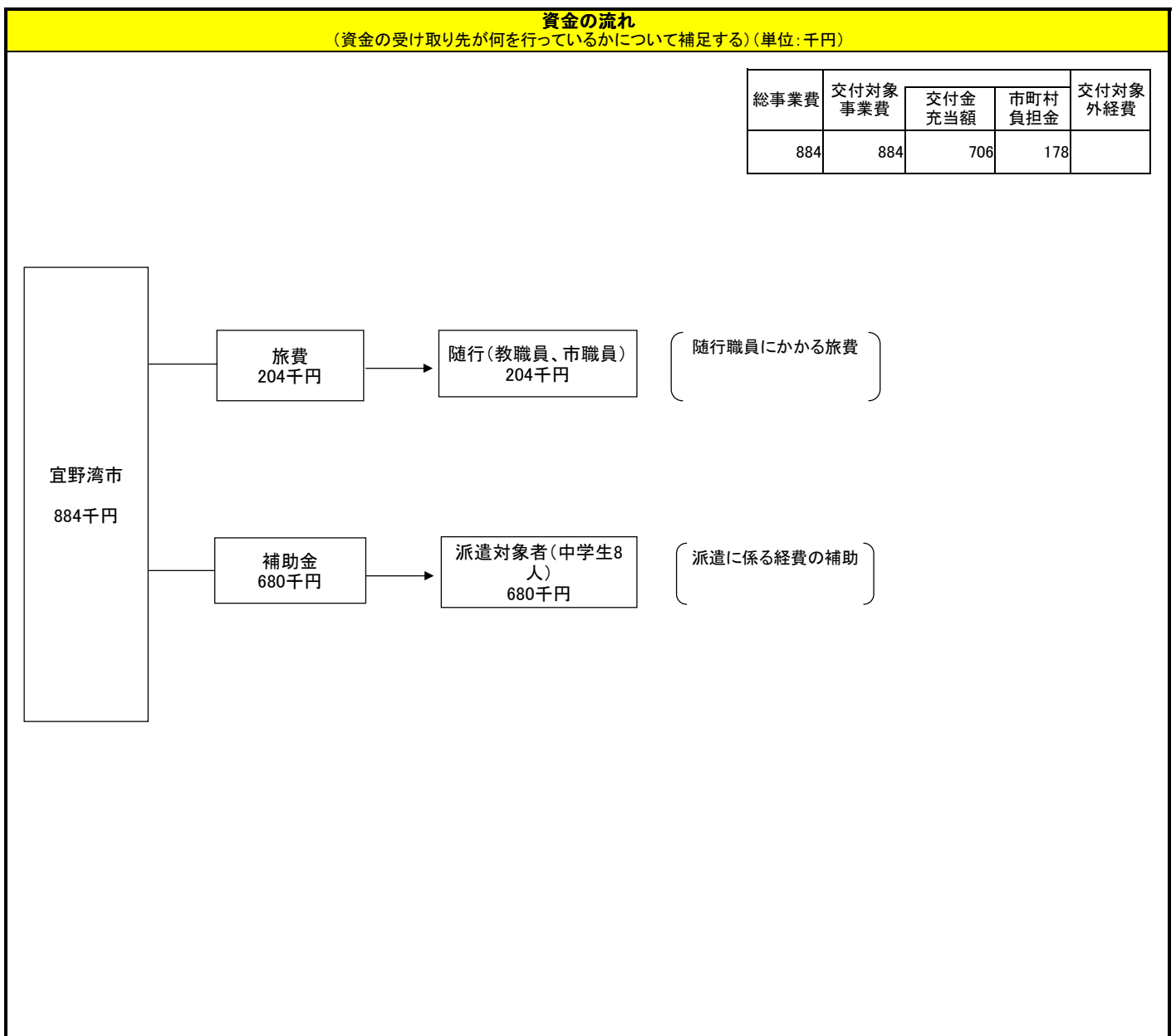
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
796	796	636	160	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補助金支出先の留学生については、選抜試験審査委員会の審査により留学候補者を選出決定しており、妥当であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成のために必要なものに補助しており、支出は適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-② 平和市民啓発事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア			
				国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築				
担当部課名	企画部 市民協働推進課		事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所			
						III-3-(1)		
事業内容	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名を派遣する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,099					
		(b) 予算現額	885					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 214					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	885	0				
	B. 執行済額		884					
	うち交付金充当額		706					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		99.9%					
予算の状況の説明		予算が214千円減額されているが、旅費等が予算見積りより減額になったためのものであり、平和学習派遣事業にて当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	平和学習派遣生徒数	目標	(8人)	()	()	()		
		実績	8人					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	市立中学校4校から推薦を受けた合計8人の中学生を長崎市へ派遣した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）	
	平和学習派遣生徒数	目標	(0人)	(8人)	()	()	(累計80人)	
		実績		8人				
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	市立中学校4校から推薦を受けた合計8人の中学生を長崎市へ派遣した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	戦後67年が経過し、悲惨な過去の歴史をどのように教訓として受け継ぐかが平和行政の課題となっている。長崎市で行われるピースフォーラムの内容は、現在の学生にも十分学んでもらえる内容となっており、特に問題はないと考えている。	事業内容については左記の通り従来通りで問題ないとする。また、派遣した生徒には、報告書を提出してもらっているが、派遣生徒の活用については、今後検討の余地があるとする。
今後の取り組み方針		
事前学習を踏まえた派遣事業を今後も継続して取り組みたい。また、市の平和関連行事に派遣生徒を出演させるなど、派遣後の生徒の活用を検討したい。		



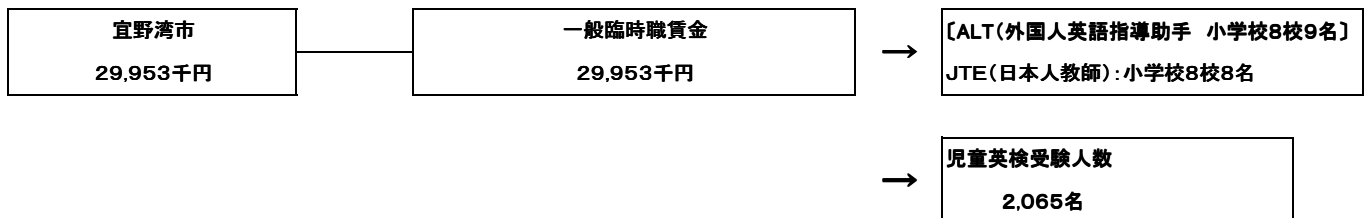
資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補助金支出先の生徒については、市内中学校校長より推薦された方であり、妥当であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成のために必要なものに補助しており、支出は適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-③	小学校英語教育課程特例校事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア			
担当部課名	指導部 指導課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築		
事業内容	「創造性、国際性に富む人材の育成」を目標に、平成15年度国の構造改革特区(英語教育特区802号)の認定を受け、平成16年度から小学校で「英語科」を新設。小中一貫した系統的な英語教育を行う。効果的、継続的な指導のもと、「国際性豊かで視野の広い児童生徒の育成及び国際化時代に必要外国人との実践的コミュニケーション能力の素地を育むこと」を目的として、英語教育事業特区事業を実施した。平成21年度以降当該事業を英語教育課程特例校事業として継続し本市英語教育の従事を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	47,027					
	(b) 予算現額	47,027					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	47,027	0				
	B. 執行済額	29,953					
	うち交付金充当額	22,000					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	63.7%					
予算の状況の説明	交付決定時期の関係で、交付金充当額は減となったが、適切な人員配置・割り振りであった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	外国語学習支援員(ALT:外国人英語指導助手):全小学校(8校)配置	目標	(8校9名)	()	()	()	
		実績	8校9名				
	JTE(日本人教師):全小学校(8校)配置	目標	(8校8名)	()	()	()	
		実績	8校8名				
達成状況説明	当初予定通りの人員の配置ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	小学校児童英検受験者数の増	目標	(2,100名)	(2,105名)	()	()	(20,000名 累計)
		実績		2,065名			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れさせながら、コミュニケーション能力の素地を養うこと目標に、小学校の学級担任と、ALT・JTEが連携して小学校外国語活動を進めている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任の小学校外国語活動に関する授業力の向上 ・ALT、JTEの英語指導力及び授業スキルの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導力向上のための研修会の実施 ・ALT、JTEの資質向上を図る研修会の実施
今後の取り組み方針		
<p>小学生段階から、異文化や英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や興味・関心を高め、国際性豊かな児童の育成を図る。 小学校外国語活動と中学校英語の円滑な接続を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,953	29,953	22,000	7,953	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-④ 外国人教師招致事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	指導部 指導課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築		
事業内容	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養うこと及び本市の生徒の英語力向上を図るため、ALT(外国人英語指導助手)4人を臨時職員として採用し、全中学校に1人配置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	10,213					
	(b) 予算現額	10,213					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	10,213	0				
	B. 執行済額	6,680					
	うち交付金充当額	5,000					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	65.4%					
予算の状況の説明	交付決定時期の関係で、交付金充当額は減となったが、適切な人員配置・割り振りであった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ALT(外国人英語指導助手):全中学校(4校)配置	目標	(4校4名)	()	()	()	
		実績	4校4名				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初予定通りの人員の配置ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	中学校英検受験者数の増	目標	(1,574名)	(1,422名)	()	()	(20,000名 累計)
		実績		1,211名			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・各中学校にALTを一人ずつ配置し、英語担当教諭と連携しながら、英語教育の助手として、生徒の英語力向上に努めている。 ・具体的には、英語担当教諭の指示による生徒に対する英語の発音指導及びコミュニケーション能力の向上に繋がる活動を行っている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・英語担当教諭の授業力の向上及び効果的なALTの活用 ・ALTの授業スキルの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力の向上を図る研修会の実施 ・ALTの授業スキルに関する研修会の充実
今後の取り組み方針		
<p>・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、効果的なALTの活用を通して、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」のコミュニケーション能力の基礎を養う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,680	6,680	5,000	1,680	0
<pre> graph LR A[宜野湾市 6,680千円] --> B[一般臨時職賃金・通勤手当 6,680千円] B --> C["4中学校ALT(外国人英語指導補助4名配置)"] </pre>				

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑤ 学校ICT活用指導支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会指導部はごろも学習センター	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	教育用パソコン、電子黒板及びプロジェクターなどを活用した情報教育授業を推進する上でITサポート支援員を教育現場に派遣し、児童生徒の情報活用能力の育成を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a)当初予算額	5,369					
	(b)予算現額	5,369					
	(c)増減額(b-a)	0					
	(d)前年度繰越額	—					
	A.計(b+d)	5,369	0				
	B.執行済額	3,569					
	うち交付金充当額	2,500					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	66.5%					
予算の状況の説明	交付金充当が8月以降となっているため執行率が66.5%となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・情報夏季講習会:計8回	目標	(8)	()	()	()	
		実績	8				
	・IT活用主任嘱託員・IT活用補助員の配置;計2名	目標	(2)	()	()	()	
実績		2					
達成状況説明	計画通り、情報夏季講習会を8回実施するとともに、IT活用主任嘱託員・IT活用補助員(通称、「ICT支援員」とよぶ)を配置し、学校現場におけるICT活用支援を進めることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」率	目標	(76.20%)	()	()	()	()
		実績		79.90%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	教師の「授業にICTを活用して指導できる率」の平成24年度最終調査結果はまだでていないが、平成23年度の76.2%より向上していることが期待できる。						

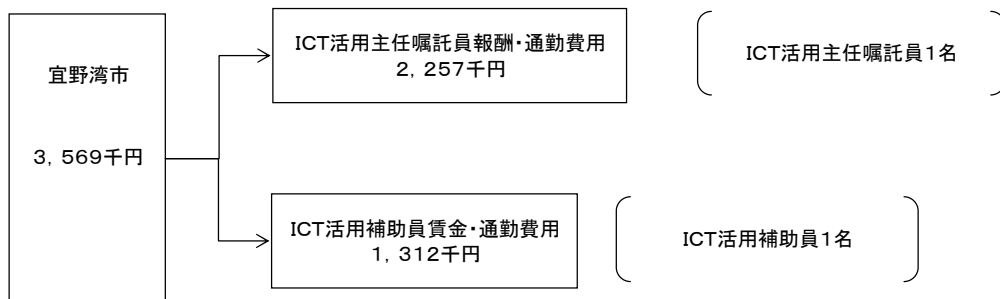
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>本市の教育施策である「わかる授業・参加する授業」の実現に向けて、教育機器を積極的に授業に活用することにより、児童生徒の学習意欲の向上を図っている。平成22年度からICT支援員の配置を行っているが、3年目を迎え、導入段階から「運用安定期」「自立移行期」といった次なるステージに向けて取り組む必要がある。</p> <p>ICT支援員による学校教育の支援体制の課題として</p> <p>①支援員が教員の授業支援に貢献できる機会を増やすこと ②嘱託、臨時で雇用している支援員を管理・指導する担当を配置すること ③支援員業務の効率化・高度化に向けた中長期的な計画を設定することが挙げられる。</p>	<p>左記3点について、</p> <p>①については、平成25年度からは「学校巡回」という形で定期的にICT支援員が学校に派遣し授業支援ができる機会を増やしていく</p> <p>②については、今後、「委託」という形態を検討していく必要がある</p> <p>③総務省の「教育分野におけるICT利活用推進のための情報通信技術面に関するガイドライン(手引書)2013」等を参考に中長期的な目標をたてICT支援員の業務の効率的化・高度化を図っていく</p>

基本的なICT支援員の活動については今年度の活動を強化する形で取り組んでいく。「改善余地の検証」に記した三点について、平成25年度において方向性を見出していくことを目指す。

なお、総務省「教育分野におけるICT利活用推進のための情報通信技術面に関するガイドライン(手引書)2013」、文部科学省「教育の情報化ビジョン」にて、「各クラス1台の電子黒板整備」に向けた将来構想が示されているが、現在、本市は「各校1台の電子黒板」の整備段階に留まっている。引き続き、ICT支援員による、教員のICT活用力向上に努めるとともに、中長期的な学校ICT環境整備計画を策定し、段階的な整備を進める必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

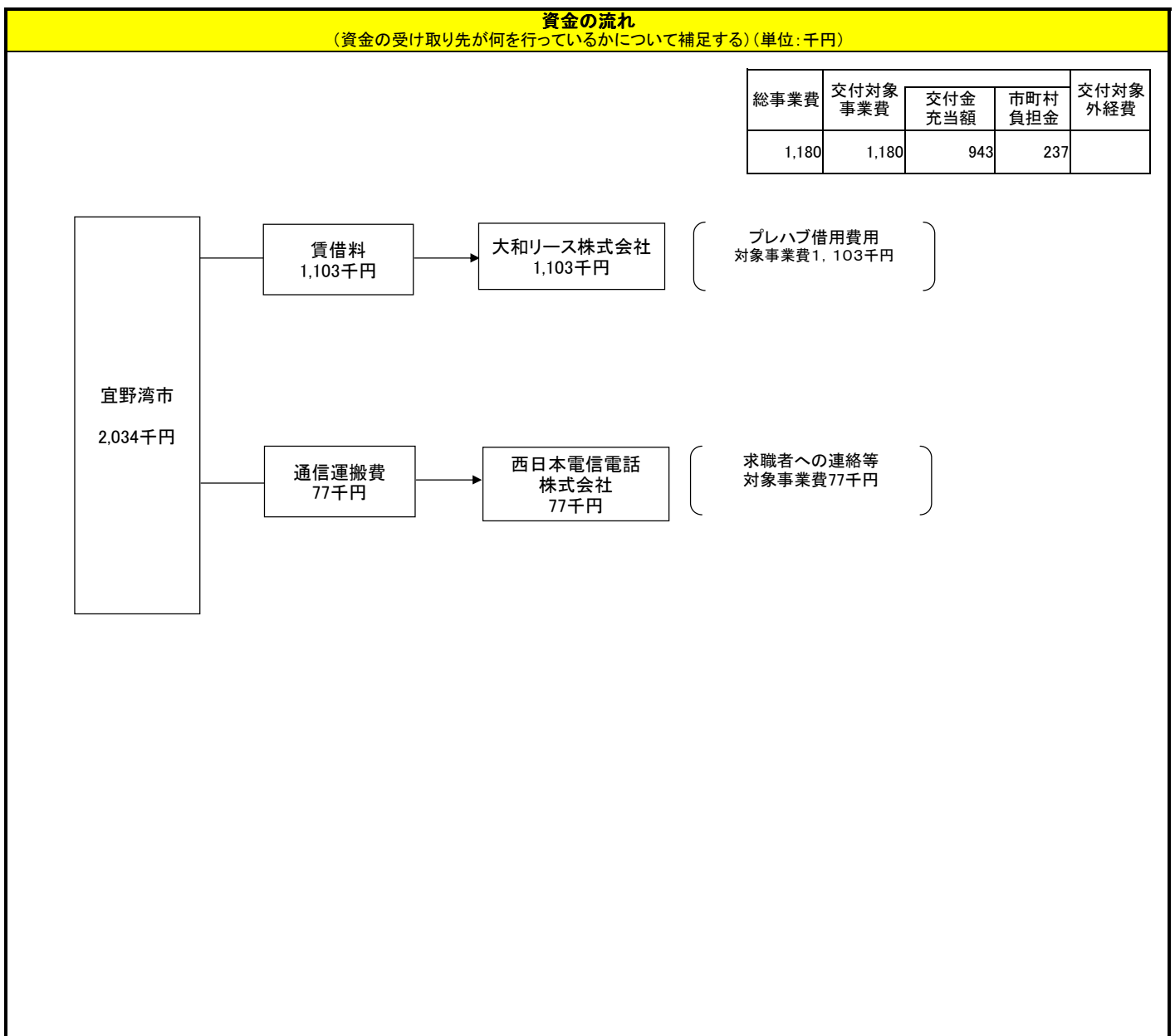
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,569	3,569	2,500	1,069	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-① 地域職業相談室(ミニハローワーク)推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア			
	担当部課名	市民経済部 雇用・企業対策室	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用対策と多様な人材の確保 Ⅲ-2		
事業内容	失業率の高い本県において雇用促進を図るため、宜野湾市役所敷地内に「宜野湾市ふるさとハローワーク」を設置し、市内若しくは近隣市町村に在住の求職者へ希望する職種や条件等に合致する求人情報の提供、専門職員等による職業相談及び紹介などの就職支援を行い、失業率の高い県内求職者に向けての就業相談の機会を充実し、雇用の促進を図る。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,465					
		(b)予算現額	2,465					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	2,465	0				
	B.執行済額		1,180					
	うち交付金充当額		943					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		47.9%					
予算の状況の説明		交付決定時期の関係で、交付金充当額は減となったが、予算の執行状況としては、概ね順調に実行し、適切であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	求職者への職業相談・紹介	目標	(6,500人)	()	()	()		
		実績	6,078人					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	宜野湾市在住の求職者並びに近隣市町村求職者に対し、広く職業機会の創出を図るため市内事業所への求人広告の依頼等を行い、多くの方々が実際にその恩恵(就業)を受けられたと共に、市内失業率の改善が図られた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(21年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	求職者職業相談件数	目標	(6,432)	(6,500)	()	()	()	
		実績		6,078				
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	近年の景気低迷の煽りを受け、就職事情が大変厳しい時期ではあるが、この事業において多くの市民・近隣市民の雇用機会の創出が図られたとともに市においては、失業率の改善へ寄与された。 ○平成24年度 相談件数:6,078件(宜野湾市民:5,151件) 内、就労件数:658件(宜野湾市民:550件)						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○平成17年国勢調査による宜野湾市の失業率は12.5% 近年行われた国勢調査(平成22年)では10.5%と改善されているが、失業率は外部環境の変化(景気変動)に大きく左右されるため、雇用創出を促す市独自制度の創設などの検討が必要であると考え。</p>	<p>○雇用のミスマッチの改善 ○国の補助金(緊急雇用創出事業)を積極的に活用し雇用受け皿の創出</p>
今後の取り組み方針		
<p>○市民ニーズの把握 ○企業側が求める人材の育成 ○働く場所の提供 ○働きやすい職場環境整備・改善指導 ○国の補助金(緊急雇用創出事業)の積極的活用</p>		



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○沖縄労働局並びにプレハブリース契約での取り決め、事業目的達成の観点から必要費用を計上しているため、金額については適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	宜野湾市総合防災訓練実施事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-ア			
担当部課名	総務部 市民防災室	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	安全・安心に暮らせる地域づくり		
事業内容	災害に強いまちづくりに向けて市民の防災知識の普及啓発を図るため、西海岸地域において地域住民や観光客も想定した実践的な避難訓練を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	1,700					
	(b) 予算現額	1,304					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 396					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	1,304	0				
	B. 執行済額	1,249					
	うち交付金充当額	999					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	95.8%					
予算の状況の説明	・不要額が55千円発生しているが、事業費の執行残によるものであり、当初計画していた事業を実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	西海岸地域における津波避難訓練の実施回数	目標	(実施訓練 1回)	()	()	()	
		実績	実施訓練 1回				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	災害に強いまちづくりの実現を図るため、西海岸地域において地域住民を主体とした実践的な津波避難訓練を1回実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	避難訓練参加者数	目標	(700名)	(1,500人)	()	()	()
		実績		1,000人			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	当初見込んでいたより参加者が下回ったため、津波避難訓練参加者数の目標を下回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	現状分析内容:初めて行った宜野湾市主催の総合訓練で、各自治体が独自で避難経路や避難場所を設定し、訓練開始場所も1カ所に集まるのではなく、日常生活を行っている所からのスタートで実践に即した訓練であったと思われる。	参加人数が予定していたより少なかった。自治会での防災講演会などを行い、市民の防災意識を向上させて、訓練の参加人数を増加させていきたい。
今後の取り組み方針		
今後も地震・津波災害時の防災・減災を目指し、継続して宜野湾市主催の総合訓練を行ってきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)			
宜野湾市 1,249	備品購入費 609千円	株式会社 三虎 609千円	〔 総合防災訓練用備品の購入 〕
	消耗品費 398千円	沖縄セルプセンター 398千円	〔 配布用備蓄食糧の購入 〕
	食糧費 100千円	沖縄セルプセンター 100千円	〔 配布用飲料水の購入 〕
	消耗品費 6千円	日商事務機 6千円	〔 訓練広報用A4用紙の購入 〕
	消耗品費 38千円	京屋旗店宜野湾店 38千円	〔 訓練実施のぼりの購入 〕
	消耗品費 70千円	株式会社トーエイ 70千円	〔 安全確保用反射ベストの購入 〕
	消耗品費 2千円	株式会社サンシー 2千円	〔 のぼり固定用ロープの購入 〕
	消耗品費 26千円	文具の店 たかはし 26千円	〔 訓練に使用する文具の購入 〕
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入事業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-②	災害時備蓄食料購入事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-ア			
担当部課名	総務部 市民防災室	事業実施 (予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	安全・安心に暮らせる地域づくり			
事業内容	地震・津波による大規模災害発生時の避難生活等への対応のため、物資が搬送再開されるまでと想定される3日分の食料備蓄を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	(a) 当初予算額	494						
	(b) 予算現額	494						
	(c) 増減額 (b-a)	0						
	(d) 前年度繰越額	—						
	A. 計 (b+d)	494	0					
	B. 執行済額	441						
	うち交付金充当額	352						
	次年度繰越額	0						
	執行率 (%) (B/A)	89.3%						
予算の状況の説明	・不要額が53千円発生しているが、事業費の執行残によるものであり、当初計画していた事業を実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。							
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	人口の20分の1の備蓄食糧数：3日分の10%	目標	94,000人×1/20 (×9食×1/10=) 4,230食	()	()	()	()	
		実績	白米900食、保存水 424本、ミルク缶60缶、 哺乳瓶16本					
		目標	()	()	()	()		
	実績							
達成状況説明	地震・津波等の大規模災害発生時の避難生活等への対応のため、物資の搬送再開がされるまでと想定される人口の1/20の3日分程度の10%を当面の目標に備蓄予定し、本年度は2%を整備した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	備蓄食糧数	目標	(80食)	94,000人× 1/20×9食 ×1/10= 4,230食	()	()	()	()
		実績		3,844食				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
進捗状況説明	平成24年度は白米900食、保存水424本、ミルク缶60缶、哺乳瓶16本の備蓄を行った。 平成23年度までの在庫分と平成24年度購入分を合わせると3,844食の備蓄がある。 保存食として適した白米(アルファ米)を購入したため、購入費用が割高になったが、水やお湯を注ぐだけで食べられるため、災害への対応力強化が図られた。							

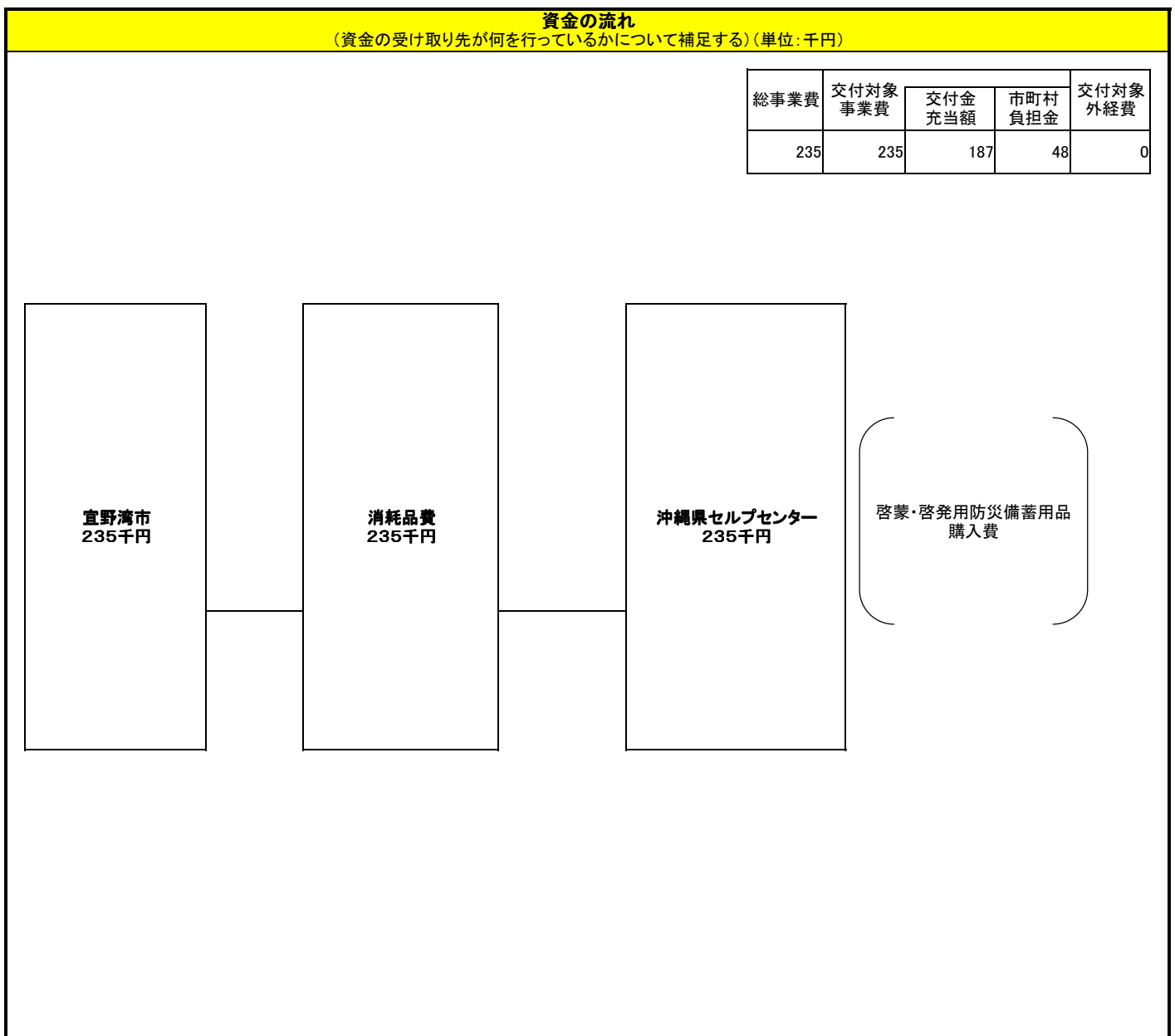
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	備蓄食糧に関しては保存期間が5年となっており、定期的に購入していかなければならない。(ミルク缶は保存期間が短く留意が必要)	現在、白米と保存水(5年保存)等を購入しているが、さらに保存期間が長期な保存食も開発されているようなので購入検討の余地がある。
今後の取り組み方針		
毎年継続して備蓄食料を購入し災害に備えることが必要である。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	441	441	352	89	0
<pre> graph LR A[宜野湾市 441千円] --> B[消耗品費 441千円] B --> C[沖縄県セルプセンター 441千円] C --- D[災害時備蓄食糧購入費] </pre>					

資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入事業者は随時契約により4社から選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-③ 自主防災組織育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	総務部 市民防災室	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
事業内容	本県の自主防災組織率は、全国平均の74.4%に比較して6.6%と極端に低い。市内各自治会単位を基本にして組織率を上げるため、講演会の開催、啓発用備蓄用品等配布などを行い、住民の防災意識の高揚を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	365					
	(b) 予算現額	365					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	365	0				
	B. 執行済額	235					
	うち交付金充当額	187					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	64.4%					
予算の状況の説明	・不要額が130千円発生しているが、事業費の執行残によるものであり、当初計画していた事業を実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	講演会の開催数(西海岸地域自治会) 啓発用備蓄用品等配付数: 8自治会	目標	(8自治会)	()	()	()	
		実績	8自治会				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・年次計画とおり、8自治会に啓発用備蓄用品等を配布することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	講演会の開催数(西海岸地域自治会) 啓発用備蓄用品等配付数: 8自治会	目標	()	(8自治会)	()	()	()
		実績		8自治会			
	【参考指標】 自主防災組織率	目標	()	(77.4)	()	()	()
		実績		2.6			
	進捗状況説明	西海岸地区において未結成の大山区、真志喜区、宇地泊区、大謝名区、嘉数ハイツ自治会に自主防災組織結成の要請を行った。防災意識は徐々に高まりつつあるが、自主防災組織結成には至っていない。					

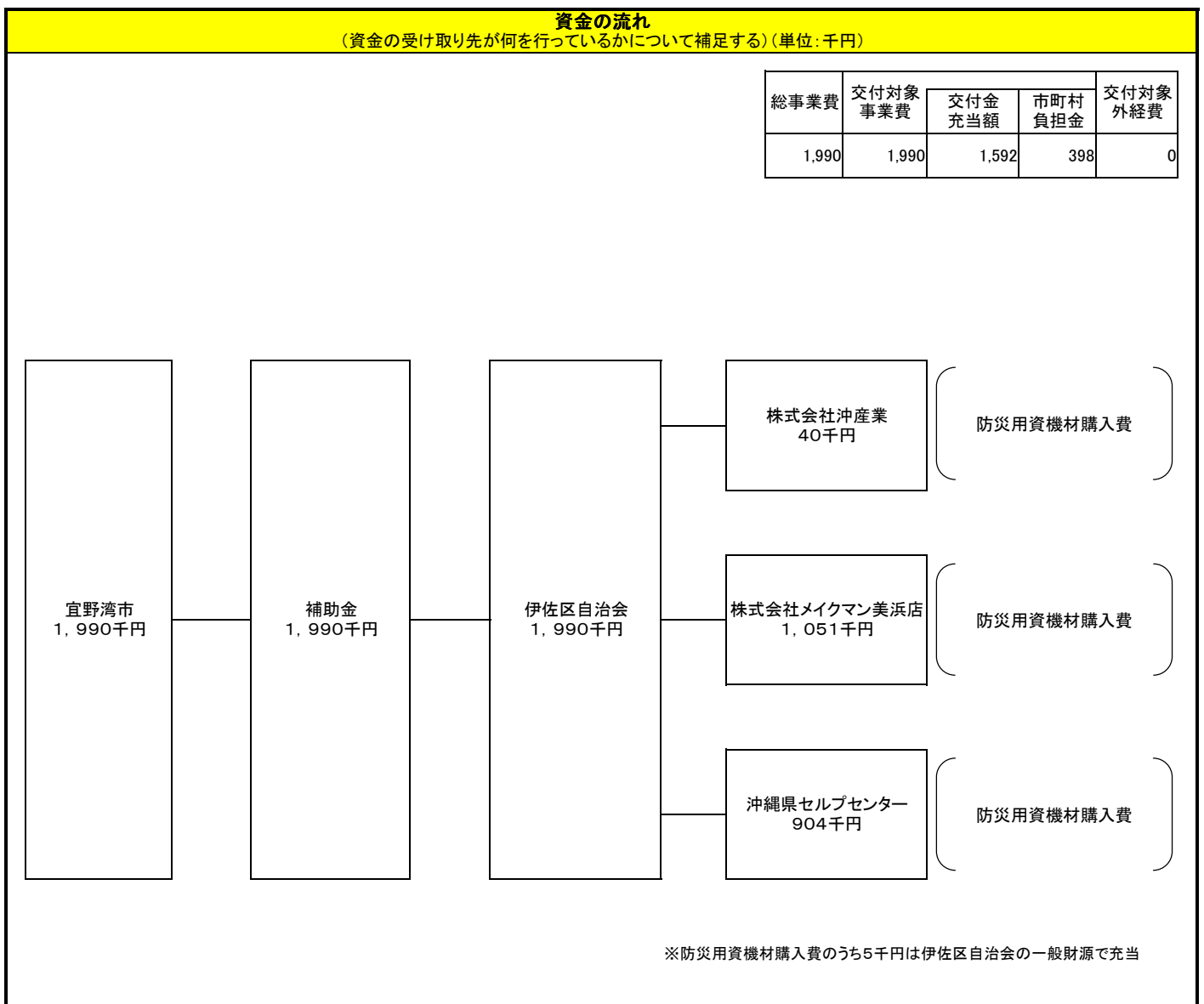
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	自主防災組織結成、防災意識向上のために継続して防災講演会等を行わなければならないと考える。	講演会の開催だけではなく多数の方が参加していただけるように広報等を行わなければならない。
今後の取り組み方針		
継続して啓発用備蓄用品の配布、各地域での防災講演会の開催を行う必要がある。		



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入事業者は随時契約により3社から選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-④	コミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業）	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-ア			
担当部署名	総務部 市民防災室	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	安全・安心に暮らせる地域づくり		
事業内容	地域の防災力の向上を図り住民の安心・安全を確保するため、市が認定した自主防災組織に対して、災害の被害防止活動及び軽減活動に必要な資機材整備を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	2,000					
	(b) 予算現額	2,000					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	2,000	0				
	B. 執行済額	1,990					
	うち交付金充当額	1,592					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	99.5%					
予算の状況の説明	・不要額が10千円発生しているが、事業費の執行残によるものであり、当初計画していた事業を実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	市が認定した自主防災組織に対する必要な資機材整備の実施	目標	(1団体)	()	()	()	
		実績	1団体				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・資機材の整備が充実されることにより、救出活動、避難生活など災害時に迅速かつ的確な対応が可能となり、被災者支援に繋がる。また、資機材を使った防災訓練が可能となり、防災意識の向上に繋げ、自主防災組織の充実・強化が図られ、地域の安心・安全に繋がる。 ・当市が認定した自主防災組織である伊佐区自主防災会（1団体）に対する必要な防災用資機材整備の実施。 						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	市が認定した自主防災組織に対する必要な資機材整備の実施（伊佐区自主防災会への防災用資機材購入への補助）	目標	()	(1団体)	()	()	()
		実績		1団体			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	当市の認定した自主防災組織である伊佐区自主防災会（1団体）に対し、災害の被害防止活動及び軽減活動に繋がるものとして、防災用資機材整備を実施した（伊佐区自主防災会への補助金を交付した）。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	自主防災組織結成していないと支援できないために留意が必要である。	防災用資機材について購入する備品等は自主防災組織が決定するが、救出活動、避難生活など災害時に有効な備品を選定するようにアドバイスすることも必要である。
今後の取り組み方針		
自主防災組織結成に向け取り組み、救出活動、避難生活など災害時に有効な備品を整備できるよう取り組む。		



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○自主防災組織である伊佐区自治会を選定しており、充当は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-⑤	災害時要援護者支援ネットワーク事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-ア		
担当部課名	総務部 市民防災室	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	安全・安心に暮らせる地域づくり		
事業内容	要援護者の安心・安全を確保するため、災害時に自力で避難することが困難な人に対して支援を行う「災害時要援護者避難支援対策協議会」との連携を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	280				
		(b) 予算現額	280				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	280	0			
	B. 執行済額		200				
	うち交付金充当額		160				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		71.4%				
予算の状況の説明		・不要額が80千円発生しているが、事業費の執行残によるものであり、当初計画していた事業を実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	災害時要援護者登録数	目標	(50人)	()	()	()	
		実績	55人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	徐々にではあるが災害時要援護者の登録数は増加しています。「災害時要援護者避難支援対策協議会」はそれ以外にも台風時の避難者受け入れ準備や宜野湾市西海岸地区津波訓練に参加するなどの活動を行っている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	災害時要援護者登録数	目標	(50人)	(50人)	()	()	(200人)
		実績		55人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	平成24年3月に「はつらつ度チェック」によるアンケート結果をもとに、災害時要援護者を希望する方の情報を得ているため、今後の災害時要援護者登録の増加に役立てることが出来ると考える。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	「災害時要援護者避難支援対策協議会」は予算、人が少なく、災害時要援護者の個人に対する避難計画等を策定しなければならないが、そこまでできる体制が整っていない。	「災害時要援護者避難支援対策協議会」は予算、人数を増加して災害時要援護者の登録者数を増加させることや避難計画の策定を行わなければならない。
今後の取り組み方針		
「災害時要援護者避難支援対策協議会」の関係部署が連携して今後の課題解決に取り組んでいかなければならない。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
200	200	160	40	0

宜野湾市
200千円

補助金
200千円

災害時要援護者避難支援対策協議会
200千円

災害時要援護者の登録

資金の流 れの点 検評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模が少なく、災害時要援護者の個人に対する避難計画等を策定しなければならないが、そこまでできる体制が整っていない。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章—3—(13)—ア		
担当部署名	基地政策部 基地跡地対策課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の有効利用の推進 Ⅲ—8		
事業内容	普天間飛行場内の土地の先行取得を行い、公共用地の割合を増加させる。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	160,000					
	(b) 予算現額	382,500					
	(c) 増減額 (b-a)	222,500					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	382,500	0				
	B. 執行済額	382,500					
	うち交付金充当額	306,000					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	用地先行取得を計画的に推進するため補正予算を計上し、基金を積み立てた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	特定駐留軍用地先行取得基金造成3億8,250万円積立	目標	(積立実施)	()	()	()	
		実績	積立実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	普天間飛行場内の土地の先行取得を行うため、特定駐留軍用地先行取得基金造成3億8,250万円を積み立てた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	特定駐留軍用地先行取得基金造成3億8,250万円積立	目標	()	(積立実施)	()	()	()
		実績		積立実施			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成24年度は、基金積立をおこない、次年度以降に先行取得に必要な金額を随時繰り入れていく。					

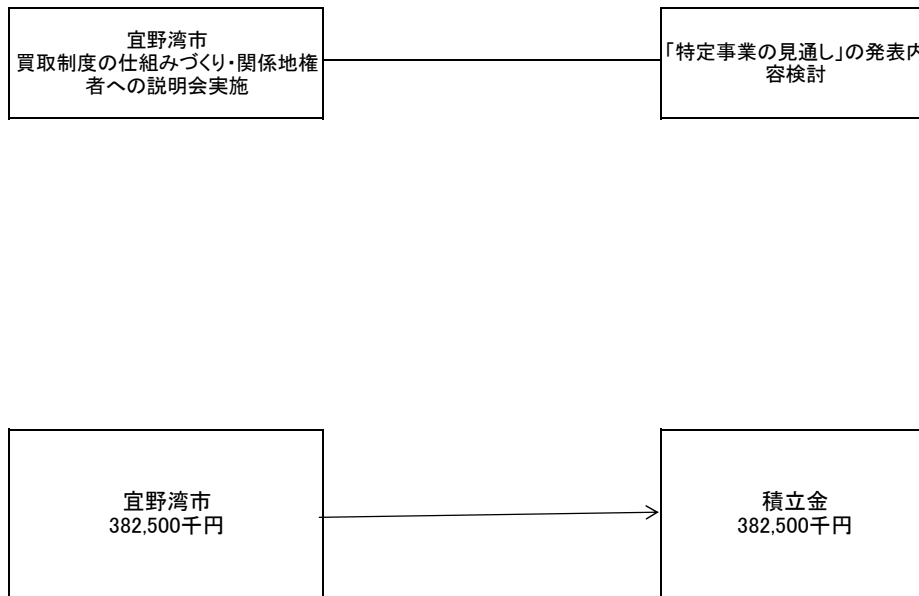
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>普天間飛行場は約9割が民有地であり、公共用地の割合が著しく低い状況である。市は平成13年度から昨年度まで単独費用で先行取得事業を行っているが、取得目標面積(253,000㎡)の10%程度の達成率にとどまっている。</p>	<p>今後、当面5年間で、取得目標面積の50%を先行取得できるよう、計画的に基金を積み増していく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

平成25年度より、県と協調し、先行取得事業として基金から繰入した上で財源を確保し、用地買収を進めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
382,500	382,500	306,000	76,500	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9	はごろも小学校関連事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-ア		
担当部署名	教育部 総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	米軍普天間飛行場周辺は、スプロール状に住宅が密集しており、大山小学校の過密解消が、市教育行政における20年来の課題となっている。同校の過密解消を図り、良好な学習環境を確保するため、分離新設校の建設用地を確保する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	1,170,037					
	(b) 予算現額	1,024,788					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 145,249					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	1,024,788	0				
	B. 執行済額	1,018,438					
	うち交付金充当額	814,750					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	99.4%					
予算の状況の説明	当該交付金を活用した用地購入事業は、概ね執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	はごろも小学校分離新設校の建設用地取得	目標	はごろも小学校(分離新設校)の建設用地取得	()	()	()	()
		実績	はごろも小学校分離新設校の建設用地取得				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	宜野湾市土地開発公社において造成・整備していたはごろも小学校用地を購入し、はごろも小学校用地を確保することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	はごろも小学校用地取得面積: 20,096.54㎡	目標	(0㎡)	(20,096.54㎡)	()	()	()
		実績		20,096.54㎡			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	小学校用地を確保できたことにより、平成26年4月開校を目指したはごろも小学校校舎建設事業を開始することができた。					

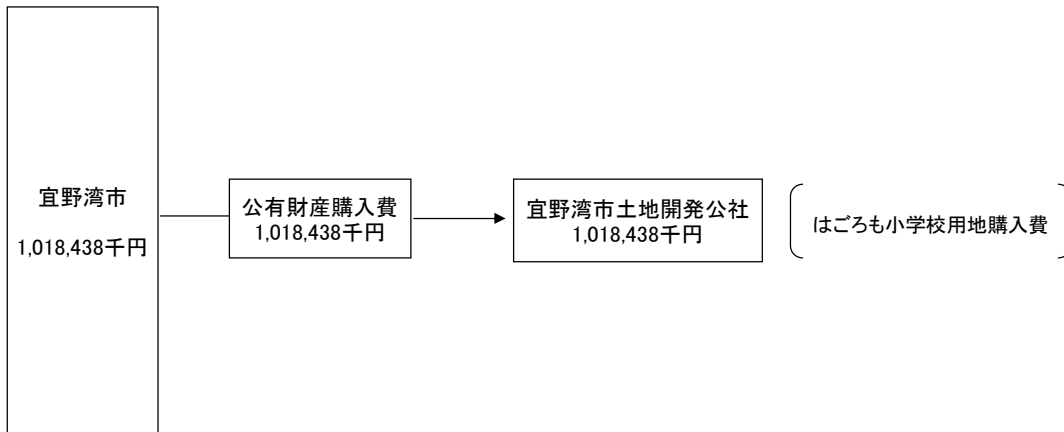
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	はごろも小学校予定用地の購入及び補償における地権者への交渉、及び土地の造成等における事業実施を行う上で調整に時間を要す。	土地開発公社に先行取得・造成等を実施してもらうことで、その後の建設事業等をスムーズに行うことができる。

今後の取り組み方針

平成26年4月開校にむけて、はごろも小学校校舎等の建設を推進する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,018,438	1,018,438	814,750	203,688	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 費目 ・ 費目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	11-① 沖縄関係仮戸籍等電子化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(5)-1			
	担当部署名	市民経済部 市民課	事業実施(予定)年度	平成24年度	米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 III-12			
事業内容	市民の公証資料を適正に管理保存するため、戦禍で焼失し、沖縄戸籍法により再製された仮戸籍、臨時戸籍、福岡戸籍等を電子化する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	52,269					
		(b) 予算現額	45,282					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,987					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	45,282	0				
	B. 執行済額		45,282					
	うち交付金充当額		36,225					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		予算減額については、当初想定していた電子化の枚数と実際に電子化した枚数の誤差によるものと、当初想定したデータの容量が減少したためサーバーの増設を取りやめたためであり、計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	紙戸籍や関連する資料の電算化の実施 対象戸籍数:約19,600件、約67,000枚	目標	(約67,000枚電算化)	()	()	()		
		実績	約67,000枚電算化					
			目標	()	()	()	()	
		実績						
達成状況説明	・庁内にて仮戸籍、福岡戸籍、臨時戸籍等の原簿を解体しナンバーリング後にスキャンした。 ・スキャンしたデータは検索用見出しデータを作成しシステムに取り込みました。 ・取り込んだデータは証明書として交付することが可能になった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	沖縄関係仮戸籍の電算化率:100%		目標 (0%)	(100%)	()	()	()	
			実績	100%				
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()	
			実績					
進捗状況説明	沖縄関係仮戸籍等の文書について全て電算化が行われ、システムから証明書として交付することが可能となった。							

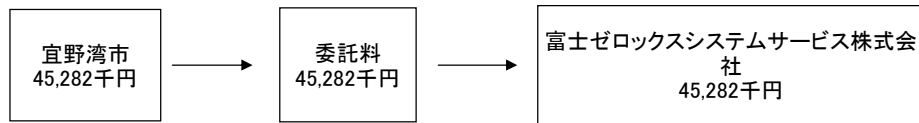
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>沖縄は戦争にて戸籍関係の書類が焼失し、戦後に作成された仮戸籍等をもとにして戸籍が作成され、現在の戸籍に至っています。今回電算化した仮戸籍等の文書については経年劣化が激しく早期の電算化が求められていたものがあります。これらが電算化されたことで、今後証明書としての安定的な交付が可能になり、市民ニーズに対応することが可能になりました。今回の事業については予定通り全て電算化が終了し、特に課題等はありません。</p>	<p>沖縄関係仮戸籍等の電算化は全て終了しており、データの取り込みについても問題は見当たりません。今後は電算化したデータについて適正に活用していきたい。</p>

今後の取り組み方針

今回の事業によって電算化がもたらす効果が明確になり、今後、戸籍の附票や戸籍届書の受付帳など電算化可能な戸籍関係書類についても永年保存に向けて電算化することが今後の検討課題にあげられます。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
45,282	45,282	36,225	9,057	0



沖縄関係仮戸籍等電子化にかかる委託業務

1. 原簿の解体及びナンバーリング
2. 原簿のスキャン作業
3. データの見出し作成
4. データのシステムへの取り込み
5. 出力検査
6. データ納品

資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	受託業者についてはこれまでの企業実績や知識等、戸籍事務について高度の技術を有しており、沖縄関係仮戸籍等についての電算化システムを有していたことから選定は妥当であったと考える。また事業達成のため必要な使途であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	12-① 普天間飛行場跡地利用計画策定事業（地権者意向調査）			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-ア			
	担当部署名	基地政策部 基地跡地対策課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	駐留軍用地跡地の有効利用の推進 III-8			
事業内容	普天間飛行場の跡地利用計画の策定に向け、地権者や市民の意向把握調査や情報提供等の業務を行う。また、市民によって構成される「わたてのまちベースミーティング」や若手地権者等によって構成される「普天間飛行場の跡地を考える若手の会」の活動を助成し、合意形成への取り組みを行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	25,439					
		(b) 予算現額	24,844					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 595					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	24,844	0				
	B. 執行済額		24,721					
	うち交付金充当額		19,776					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		99.5%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	地権者・市民意向把握の実施、しくみづくりの取組	目標	（ 普天間飛行場跡地利用計画策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実績	普天間飛行場跡地利用計画策定					
			目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
			実績					
達成状況説明	地権者・市民に向けた情報誌の発行や懇談会を開催し、跡地利用に向けた取り組みに関する情報の共有化が図られた。また、普天間飛行場の跡地利用の関心を高めるため、視覚的に理解しやすい漫画本を作成した。市民によって構成されるわたてのまちベースミーティングは、昨年に引き続き琉球大学の学生と交流・連携し、跡地利用についての意見交換を行った。若手地権者で構成される普天間飛行場の跡地を考える若手の会では、これまでに発表した跡地利用に関する分野別の提言書をひとつにまとめた「若手の会の中間取りまとめ」を行うため、活動を継続している。また、昨年4月に施行された跡地利用推進法の説明会を開催した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	地権者・市民意向把握の実施、しくみづくりの取組	目標	（ ）	（ 普天間飛行場跡地利用計画策定 ）	（ - ）	（ - ）	（ - ）	
		実績		普天間飛行場跡地利用計画策定	-	-	-	
	【参考指標】		目標	（ - ）	（ - ）	（ - ）	（ - ）	
			実績		-	-	-	
	進捗状況説明	地権者・市民に向けた情報誌の発行や懇談会を開催し、跡地利用に向けた取り組みに関する情報の共有化が図られた。また、普天間飛行場の跡地利用の関心を高めるため、視覚的に理解しやすい漫画本を作成した。市民によって構成されるわたてのまちベースミーティングは、昨年に引き続き琉球大学の学生と交流・連携し、跡地利用についての意見交換を行った。若手地権者で構成される普天間飛行場の跡地を考える若手の会では、これまでに発表した跡地利用に関する分野別の提言書をひとつにまとめた「若手の会の中間取りまとめ」を行うため、活動を継続している。また、昨年4月に施行された跡地利用推進法の説明会を開催した。						

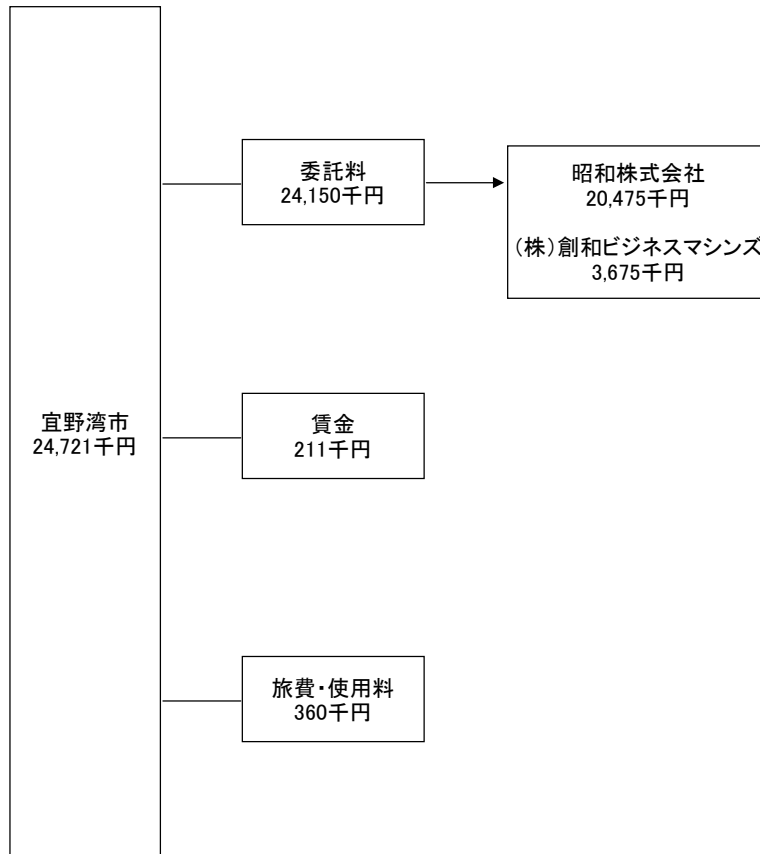
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>普天間飛行場の返還の時期が不明確であり、市民・地権者の跡地利用への関心を維持することが難しい状況である。ねたてのまちベースミーティングの活動については、参加人数が少なく、活動方針の見直しを行う必要がある。普天間飛行場の跡地を考える若手の会については、自主会が開催されるなど活動が安定的になってきたが、新たな参加者の獲得を行い活動を促進する必要がある。</p>	<p>市民・地権者への情報提供について、さらに理解しやすい内容での説明が求められる。ねたてのまちベースミーティングの活動については、市民参加型のイベントを開催するなど、積極的にPR活動を行う必要がある。普天間飛行場の跡地を考える若手の会については、これまでの提言書をまとめた若手の会の中間取りまとめを活用しつつ、今後の活動を継続していく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

市民・地権者に向けた情報提供について、漫画本の作成やこれまで以上に理解しやすい内容の資料作成を行い、跡地利用への関心を高める。また、琉球大学や沖縄国際大学等と連携し、若い世代へのアプローチも行う。ねたてのまちベースミーティングの活動については、会員が中心となって市内のフィールドワーク等を行い、活動をPRして会員獲得を目指す。普天間飛行場の跡地を考える若手の会については、これまでの活動を継続しつつ、若い世代の新規会員の獲得を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

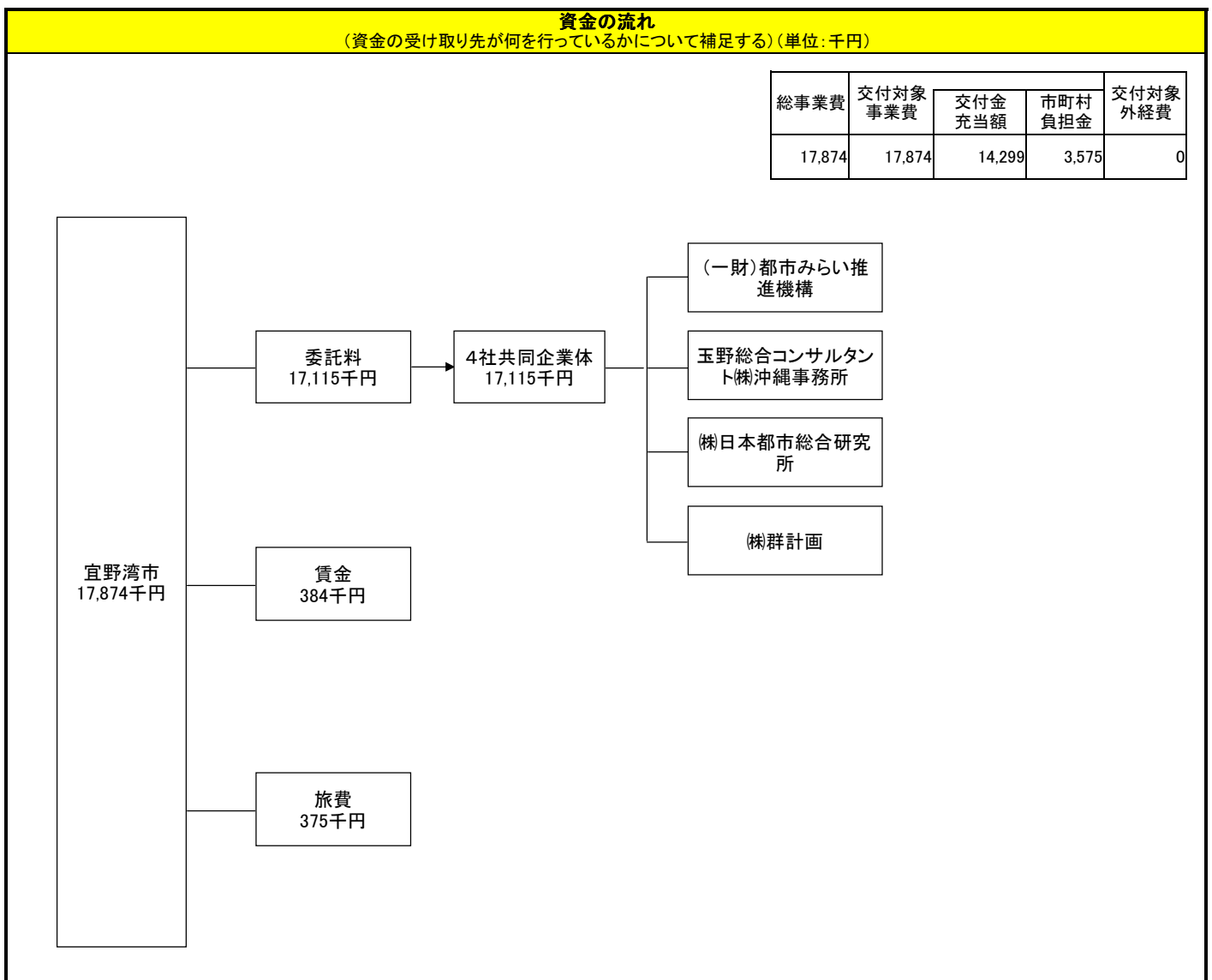
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
24,721	24,721	19,776	4,945	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札により選定した。費目・使途については事業目定期達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12-② 普天間飛行場跡地利用計画策定事業（共同事業）			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-ア		
担当部課名	基地政策部 基地跡地対策課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の有効利用の推進 Ⅲ-8		
事業内容	宜野湾市と沖縄県が平成19年度5月に策定した「普天間飛行場跡地利用計画の策定に向けた行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,156				
		(b) 予算現額	17,989				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,167				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	17,989	0			
	B. 執行済額		17,874				
	うち交付金充当額		14,299				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		99.4%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	土地利用及び機能導入、都市基盤整備、環境づくり等の分野別計画の実施	目標	(普天間飛行場跡地利用計画策定)	()	()	()	
		実績	普天間飛行場跡地利用計画策定				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	市民及び地権者の意見を聴取しつつ、これまでの取り組みの成果をまとめた全体計画の中間取りまとめを策定した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	土地利用及び機能導入、都市基盤整備、環境づくり等の分野別計画の実施	目標	()	(普天間飛行場跡地利用計画策定)	()	()	()
		実績		普天間飛行場跡地利用計画策定			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	市民及び地権者の意見を聴取しつつ、これまでの取り組みの成果をまとめた全体計画の中間取りまとめを策定した。					

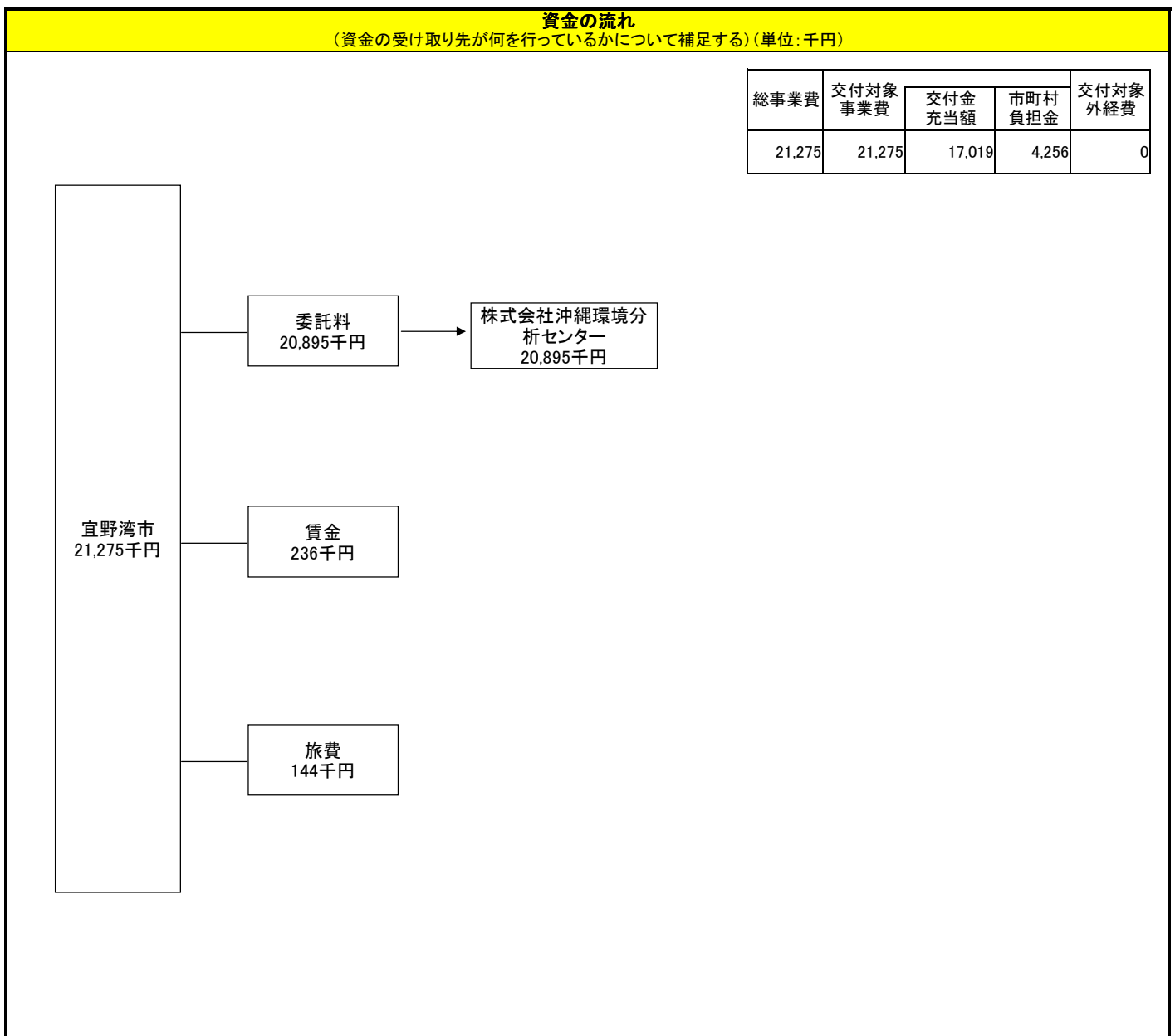
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>普天間飛行場の返還時期が不明確であり、また基地内の立ち入り調査が十分に行われていないことから、跡地利用計画の策定に支障をきたしている。</p>	<p>基地内の調査等を早期に実施する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>基地内の調査実施に向けた取り組みを行うとともに、全体計画の中間取りまとめを広く公表し、県内外からの意見聴取や需要調査等を行う。</p>		



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>本事業は沖縄県と共同で調査を行っており、足並みを揃えて円滑かつ効率的に事業を進める必要がある。また、今年度はこれまでの検討成果の集大成として中間取りまとめを策定する重要な時期であり、平成23年度調査で実施した大規模公園の配置に対する考え方などを踏まえて取り組む必要があることから前年度調査からの継続と一貫した調査体制が不可欠である等の理由により、委託業者は随意契約により選定した。費目・使途については事業目定期達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	12-③ 普天間飛行場跡地利用計画策定事業（自然環境調査）			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-ア				
	担当部課名		事業実施（予定）年度	平成24～33年度	駐留軍用地跡地の有効利用の推進				
基地政策部 基地跡地対策課				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-8				
事業内容									
基地周辺の地形や動植物の生息状況、湧水や鍾乳洞等の宜野湾市の自然的特性に関する調査を行い、跡地利用計画の推進を図る。									
実施方法									
<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）									
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		予算の状況	(a) 当初予算額	22,173					
			(b) 予算現額	21,412					
			(c) 増減額 (b-a)	▲ 761					
			(d) 前年度繰越額	—					
			A. 計 (b+d)	21,412	0				
		B. 執行済額		21,275					
		うち交付金充当額		17,019					
		次年度繰越額		0					
		執行率 (%) (B/A)		99.4%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。							
活動目標（指標）及び達成状況		H24活動目標（指標）		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度		
		市域一体の自然環境に関する調査	目標	(普天間飛行場跡地利用計画策定)	()	()	()		
			実績	普天間飛行場跡地利用計画策定					
			目標	()	()	()	()		
			実績						
達成状況説明	湧水に関する調査では、これまでに行ってきた調査に加え、ダイオキシン類等の調査を行った。鍾乳洞に関する調査では、これまで未調査であった部分も含めて調査を行った。また、今年度の調査結果と以前の調査を比較した経年調査を行った。								
成果目標（指標）及び進捗状況		H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
		市域一体の自然環境に関する調査	目標	()	(普天間飛行場跡地利用計画策定)	()	()	()	
			実績		普天間飛行場跡地利用計画策定				
		【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
				実績					
		進捗状況説明	湧水に関する調査では、これまでに行ってきた調査に加え、ダイオキシン類等の調査を行った。鍾乳洞に関する調査では、これまで未調査であった部分も含めて調査を行った。また、今年度の調査結果と以前の調査を比較した経年調査を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	普天間飛行場内の自然環境調査が許可されておらず、跡地利用計画の策定に支障をきたしている。	早期の基地内立入調査を実施する必要がある。
今後の取り組み方針		
これまでに行ってきた調査を継続し、経年調査を実施しつつ早期の基地内立入調査の実施に向けた取り組みを行っていく。		



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札により選定した。費目・用途については事業目定期達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12-④ キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-ア		
	担当部署名	基地政策部 基地跡地対策課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	駐留軍用地跡地の有効利用の推進	
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-8		
事業内容	<p>キャンプ瑞慶覧のうち、返還が合意されている宜野湾市部分について、返還後の跡地利用計画を円滑に促進するために跡地利用計画の策定及び地権者の合意形成活動を行い、地権者全体でまちづくりを推進する体制を実現することを目的に、地権者の跡地利用に対する意識高揚を図る。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)	(a) 当初予算額	12,108				
		(b) 予算現額	11,685				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 423				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	11,685	0			
	B. 執行済額		11,372				
	うち交付金充当額		9,097				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		97.3%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)の事業化に向けた取り組み	目標	キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)跡地利用計画策定	()	()	()	()
		実績	キャンプ瑞慶覧宜野湾市地区跡地利用計画策定				
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)は、平成24年度4月の日米共同発表により、西普天間住宅地区と表現され、早期の返還が発表された。この発表に伴い、地権者有志で構成される勉強会にて今後の行動計画を作成した。また、平成24年4月に施行された跡地利用推進法を活用して目視による立ち入り調査を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	キャンプ瑞慶覧宜野湾市地区跡地利用計画策定	目標	()	キャンプ瑞慶覧宜野湾市地区跡地利用計画策定	()	()	()
		実績		キャンプ瑞慶覧宜野湾市地区跡地利用計画策定			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明							

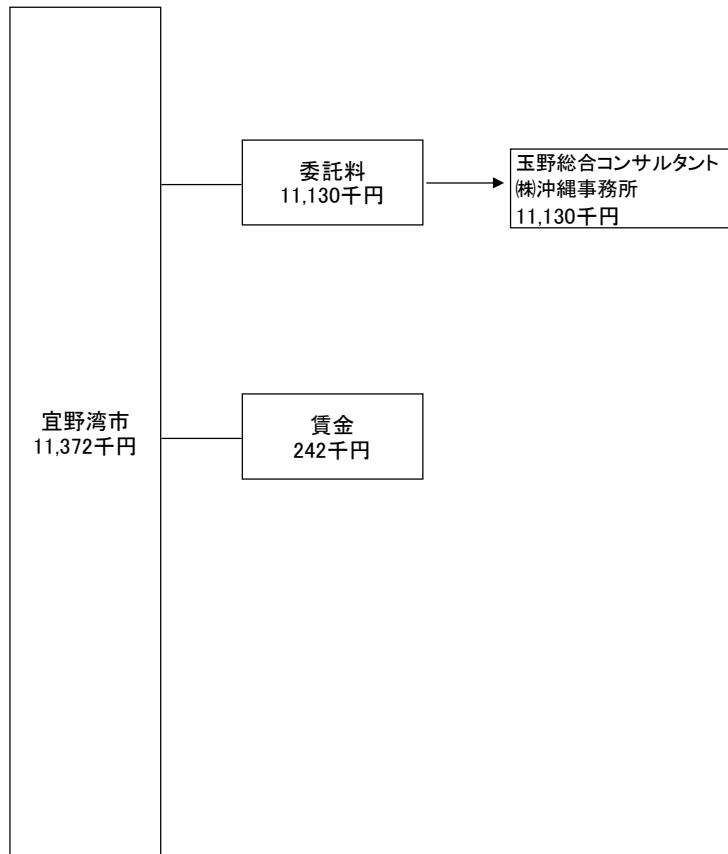
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>返還が予定されている西普天間住宅地区は目視による立ち入り調査を行ったが、自然環境や文化財、測量調査等が実施されていない。また、当該地区は部分返還であるが、返還区域や時期の明示がなされていない。平成16年度に基本計画を策定したが、策定から10年が経過しており、外部環境が変化している。その他、事業化に向けた課題(10項目の課題)が未解決である。</p>	<p>早期の基地内立入調査を実施する必要がある。また、平成16年度に作成した基本計画を基に見直しを検討する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

地権者と共に作成した行動計画に基づき、跡地利用計画の策定に向けた取り組みを行う。また、事業化に向けた課題(10項目の課題)の解決に向け、関係機関と調整する必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

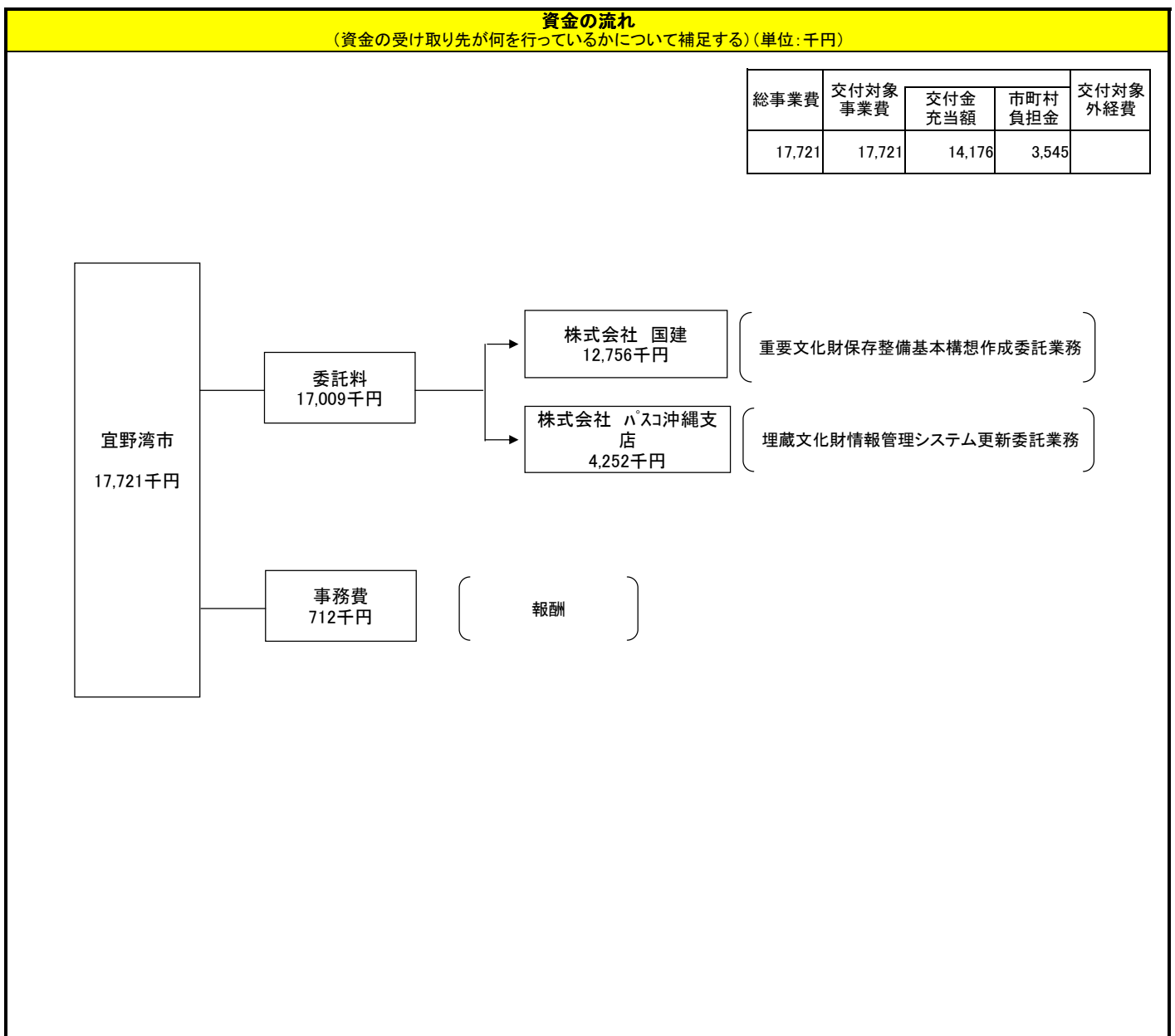
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,372	11,372	9,097	2,275	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札により選定した。費目・用途については事業目定期達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	12-⑤ 埋蔵文化財発掘調査支援検討調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(13)-ア			
	担当部課名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	H24~H33	駐留軍用地跡地の有効利用の推進			
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-8			
事業内容	埋蔵文化財調査の情報と進捗する試掘・確認調査の関連情報が、地権者等に広く提供・公開できる「仕組み」を整備する。併せて平成23年度に作成した普天間飛行場の「重要遺跡保存整備基本構想」を基に、『遺跡(埋蔵文化財)以外の文化財』と「基地外の文化財」も統一的に見据えた「重要文化財保存整備基本構想[案]」を作成する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,946					
		(b) 予算現額	19,946					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	19,946	0				
	B. 執行済額		17,721					
	うち交付金充当額		14,176					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		88.8%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	重要文化財実施設計策定	目標	(重要文化財実施設計策定)	()	()	()		
		実績	重要文化財実施設計策定					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	文化財の基礎情報の整理と地権者及び地域住民等の合意形成に向けて、戦前に撮影された画像を3D化し地主会及び宜野湾・神山・新城の郷友会の方々へ戦前の集落の状況等について情報提供し、各地域が重要とする文化財について意見交換等を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)	
	重要文化財実施設計策定	目標	()	(基本構想案策定)	()	()	()	マスタープラン策定
		実績		基本構想案策定				
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
			実績					
	進捗状況説明	策定した重要文化財保存整備基本構想[案]に基づき「重要文化財保存整備基本構想」を作成する。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	返還予定地に所在する文化財の情報を地権者・自治体・地域住民へ周知し、今後の文化財の保護・利活用に向けて十分に意見・要望等を徴する必要がある。	地域の歴史と文化を今に伝える文化財の保護・利活用を図るために、返還予定地に所在する文化財の情報を地権者・市民等へ周知に努める。
今後の取り組み方針		
普天間飛行場内の文化財調査の成果と地権者・自治体・地域住民の意見・要望等を十分に反映させて実施する。		



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	12-⑥ 瑞慶覧地区文化財保護マスタープラン策定調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(13)-ア			
	担当部課名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	H24~H33	駐留軍用地跡地の有効利用の推進			
事業内容		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
		(a) 当初予算額	8,613					
	(b) 予算現額	8,613						
	(c) 増減額 (b-a)	0						
	(d) 前年度繰越額	—						
	A. 計 (b+d)	8,613	0					
	B. 執行済額	8,162						
	うち交付金充当額	6,529						
	次年度繰越額	0						
	執行率 (%) (B/A)	94.8%						
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	重要文化財実施設計策定	目標	(策定)	()	()	()		
		実績	策定					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	跡地利用に係る基本計画と整合性のある、「重要文化財保存整備マスタープラン」作成に向けて、地権者・市民等主体となった文化財の保存整備・利活用に向けた取り組みを実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)	
	重要文化財実施設計策定	目標	()	(策定)	()	()	()	マスタープラン策定
		実績		策定				
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
			実績					
	進捗状況説明	歴史・文化遺産の詳細な分布状況と内容を把握し、重要文化財の評価・選別を行い、跡地利用に係る基本計画と整合性を図り、重要文化財の保存整備マスタープランを作成することにより文化財の保存・活用を図る。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	戦後半世紀以上も立入ができない返還予定地に所在する文化財の情報を地権者・自治体・地域住民へ周知し、今後の文化財の保護・利活用に向けて十分に意見・要望等を徴する必要がある。	地域の歴史と文化を今に伝える文化財の保護・利活用を図るために、返還予定地に所在する文化財の情報を地権者・市民等へ周知に努める。
今後の取り組み方針		
入域許可後になされる文化財調査の成果と地権者・自治体・地域住民の意見・要望等を十分に反映させて実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,162	8,162	6,529	1,633	
<pre> graph LR A[宜野湾市 8,162千円] -- 委託料 7,959千円 --> B[有限会社 MUI景画 7,959千円] A -- 事務費 203千円 --> C[旅費] subgraph Note B --- Note["重要文化財保護に向けた運営主体づくり委託業務"] end </pre>				
評価	点検項目		評価に関する説明	
○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業者は、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。	
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	13 墓地基本計画事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(6)-ア		
	担当部課名	市民経済部 環境対策課		事業実施(予定)年度	平成24年度	価値創造のまちづくり	
		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-12			
事業内容	沖縄には独自の埋葬文化があり、個人墓地在住宅地と混在し造られている。墓地による市街地環境の悪化を防ぐため、墓地の集約化を検討し、地域の住環境を保全する必要がある。市民の需要を考慮し、安心して求めることができる多様な墓地の供給方針を示すため、墓地基本計画を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	6,398				
		(b)予算現額	5,775				
		(c)増減額(b-a)	▲623				
		(d)前年度繰越額	—				
		A.計(b+d)	5,775				
	B.執行済額		5,775				
	うち交付金充当額		4,620				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	宜野湾市墓地基本計画の策定	目標	(基本計画策定)	()	()	()	
		実績	基本計画策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	宜野湾市の墓地施策の基本方針等を示すため、墓地基本計画策定委員会(3回)、同検討部会(3回)、住民説明会(5地区×2回 計10回)、パブリックコメント等を行い、計画を策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	宜野湾市墓地基本計画の策定	目標	()	(宜野湾市墓地基本計画の策定)	()	()	()
		実績		宜野湾市墓地基本計画の策定			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	宜野湾市墓地基本計画の策定により、今後の墓地の適正管理のあり方、多様化する墓地・埋葬への対応、墓地の規制・誘導、墓地の整備のあり方等に対応するための基本的な施策方針を示すことができた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(ア)宜野湾市においても少子高齢化が進む中、墓地需要量が年々増加していくことが計画書で示された。墓地需要量の増加に合わせて、公営墓地設置への要望が高まりつつある。しかし、宜野湾市は普天間基地を市街地の中央に抱えており、公営墓地用地の確保が困難な状況にある。</p> <p>(イ)墓地経営主体について、行政のみではなく、宗教法人、公益法人の墓地経営は法的に認められているため、協働していく基本的指針を計画書で示している。法人等との連携によって、墓地需要量の確保に努めることが可能である。また、市民、事業者(墓石材業者等)との協働により、これまで沖縄県の特有の問題となっていた無許可墓地に対しての取締の強化や規制をかけていくことが可能となった。</p>	<p>左(推進上の留意点)にも示しているとおり、今後の課題事項等はあるが、計画策定段階においては、宜野湾市の今後の墓地施策の基本的方針を示すことが、目的であったため改善等の必要性はない。今後の取り組みによって課題解決に努めていく。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>(1)平成25年度・・・宜野湾市墓地基本計画推進事業として、①墓地台帳(所有者、地籍図等)簡易整備の検討②(仮称)宜野湾市墓地・埋葬等に関する条例制定③計画に関する情報の公開(市ホームページ整備、市広報誌掲載等)等を実施していく予定である。</p> <p>(2)平成26年度以降・・・①公営墓地の用地確保及び公営墓地構造の検討②墓地台帳(所有者、地籍図等)システム化整備の検討 等を実施していく予定である。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	5,775	5,775	4,620	1,155	0
<pre> graph TD A[宜野湾市墓地基本計画策定 5775千円] --> B[委託料 5775千円] B --> C[一般財団法人沖縄県環境科学センター 5775千円] C --- D["計画策定に係る委託業務 (内訳) 1. 計画準備 業務計画書の作成 2. 墓地基本計画策定に係る調査 3. 策定委員会等の運営支援 4. 検討部会等の運営支援 5. 住民説明会の開催支援 6. パブリックコメント実施支援 7. 計画書及び関連資料の作成"] </pre>					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	委託業者は本市の指名競争入札方式(6社)により入札をおこなっているため適正である。また、受託業者は、企業組織、実績、知識等を勘案しても、業務履行に十分対応できる業者であるため、妥当であったと考える。事業目的達成の観点から必要最低限の使途になっている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	15 中央公民館整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-5-(2)-イ 公平な教育機会の享受に向けた環境整備					
担当部課名	教育部 生涯学習課	事業実施（予定）年度 平成24～28年度 沖縄振興基本方針該当箇所 III-3-(1)					
事業内容	公民館内の、各研修室、視聴覚室では老朽化により壁・床のはがれが生じ、またOA研修室においては電源・ネットワーク配線がむき出しになるなどの状況で施設利用・歩行の妨げとなっていた。中央公民館には現在77のサークルが活動しており、市または教育委員会などの各行事における利用頻度も高いことから、本事業により施設の整備を行い、利用者が安全で快適に生涯学習に取り組める環境づくりにとらむ。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	7,691					
	(b) 予算現額	7,691					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	7,691	0				
	B. 執行済額	4,946					
	うち交付金充当額	3,956					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	64.3%					
予算の状況の説明	市単独予算の備品購入費を含めて予算計上しているため、契約執行残を含めると執行率が低くなっている。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	生涯学習活動拠点研修施設整備	目標	（生涯学習活動拠点研修施設整備）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	生涯学習活動拠点研修施設整備				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	年度途中からの視聴覚室、児童室、研修室、図書室の改修工事を実施するにあたり、外部団体等の施設予約の関係上、工事箇所を分けて計画・実施していかなければならなかったが、計画どおりに実施することができた。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	生涯学習活動拠点研修施設整備	目標	（ ）	（生涯学習活動拠点研修施設整備）	（ ）	（ ）	（7ヶ所）
		実績		生涯学習活動拠点研修施設整備			
	【参考指標】	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
	進捗状況説明	24年度の計画はすべて事業完了となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	年度途中の事業実施確定したため、それ以前に外部団体、サークル等の施設予約が入っていたことから、改修工事の日程調整が難しく、市民サービスに多少なりとも影響が出てしまった。	・改修工事の効率性を考慮し、改修工事時期を前もって年度計画に組み込み、その期間は閉館にする等の措置が必要である。
今後の取り組み方針		
平成25年度以降に予定している改修工事は、改修時期を前もって外部団体等と調整、及び閉館を視野に入れた工事計画の検討を行っていく。市民サービスへの影響を極力抑えられるような工事計画を検討していきたい。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,946	4,946	3,956	990	

```

graph LR
    A[工事請負費 4,946千円] --> B[有限会社宜野湾建設 1,292千円]
    A --> C[有限会社宜野湾建設 1,229千円]
    A --> D[インテリア松川 850千円]
    A --> E[有限会社リフォーム施工 1,176千円]
    A --> F[有限会社棚原電気工事店 399千円]
    B --- B1[中央公民館改修工事(研修室①、研修室②、児童室)]
    C --- C1[中央公民館改修工事(視聴覚室壁・図書室フロア)]
    D --- D1[中央公民館改修工事(研修室①OA化工事)]
    E --- E1[中央公民館改修工事(視聴覚室フロア)]
    F --- F1[中央公民館改修工事(研修室①OAフロア化に伴う配線工事)]
  
```

資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 費目 ・ 費目 ・ 費目 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	16 市民図書館施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-イ				
	担当部課名	教育部 市民図書館	事業実施(予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の享受に向けた環境整備 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	宜野湾市民図書館は、生涯学習の施設の拠点として市民に活用されているが、開館から20年経過し、図書館の施設整備を図る必要がある。しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の施設を整備し市民サービスの向上を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	632					
		(b)予算現額	632					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	632	0				
	B.執行済額		632					
	うち交付金充当額		504					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・授乳室(1カ所)設置工事の完了	目標	(1件)	()	()	()		
		実績	1件					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	・空調機器改修工事設計については教育部施設課に執行委任し完了(平成24年12月)。 ・授乳室設置工事については市民図書館で直接実施し完了(平成24年10月)。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	・授乳室(1件)設置工事の完了	目標	(0室)	(1室)	()	()	()	
		実績		1室				
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	平成24年10月に授乳室の設置工事完了。成果目標を達成している。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	生涯学習施設の拠点として市民サービスを提供している市民図書館において、開館から20年を経過し、施設環境の整備を行う必要がある。その間、市民サービスに影響が出てくると予想されるため、最小限に抑えなければならない。 今年度実施の授乳室設置工事は短期間の工事であったため、毎年閉館して行っている蔵書点検期間中に実施することができた。	工事期間の計画は年間計画の中で予定している蔵書点検期間を最大限利用する等して、市民サービスの停止期間を最小限に抑えるよう、執行委任先である建設部建築課との調整を行わなければならない。
今後の取り組み方針		
<p>・平成25年度に空調機器改修工事、外壁等漏水補修工事を予定している。執行に関しては、建設部建築課に執行委任する。工事期間中は市民サービスに影響が出てくると思うが、最小限に抑えるよう鋭意努力していきたい。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	632	632	504	128	0
<pre> graph LR A[宜野湾市 632千円] --> B[工事請負費 632千円] B --> C[有限会社由城建設 632千円] subgraph D [授乳室設置工事にかかる 工事請負費] C end </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	